

2020年度下関市立大学

# 国際交流白書

(下関市立大学における国際交流の実情について)



# 最終稿発行に寄せて



情報を伝えるさまざまな媒体がデジタル化を進めるなか、この度、『国際交流白書』についてもその流れに乗り、冊子体からの切り替えが必要であろうと判断いたしました。下関市立大学における国際交流の実情についてお伝えしてきた『国際交流白書』は冊子体での刊行を2020年度で終了し、2021年度からはWeb版で公表することとした次第です。冊子体で作成し、それを手にすることによる利便性もありますが、Web上に掲載することによってできるだけ多くの方々に本学の国際交流の実情をお伝えすることも大切であります。これまで、同『白書』の刊行にご尽力くださった方々に感謝し、今後はさらに内容を充実させヴィジュアルに本学の国際交流状況をお伝えできればと考えております。

また、デジタル化することによる経費の節減効果も大きいものがあります。構造的に進展する18歳人口の減少に対応して、大学は可能な限り経費を要する媒体での情報伝達を抑制する必要があります。デジタル化の推進は、国際交流に限らず、教育や研究に関わるさまざまな活動についても進めていかざるを得ません。

世界中の感染者数が1億人を超えた新型コロナウイルス感染症（以降コロナ）の蔓延した2020年は人類の歴史に永く語り継がれることになるでしょう。人の往来を極端に制限する毒性の高い感染症の拡大は、われわれの国際交流にも甚大な影響を与えました。2020年度における、派遣留学等による海外留学数、受入れ留学生数はともに激減いたしました。そのようななか、本学が定めている危機管理ガイドラインを徹底させながら、コロナ対応の行動マニュアルに沿って細心の注意を払いながら派遣や受入の努力を行ってきたことも事実であります。結果的には派遣留学生数は3人、新規受入留学生数は18人、総留学生数は64人となりましたが、国際交流の維持にご尽力いただいた関係者の皆さまには心より感謝申し上げます。

コロナという困難な事情もありましたが、逆にそのような状況を踏まえて時間的距離的限界を超える手段が普及してきたのも事実です。たとえば、留学生がWebを通じて受講し、論文指導を受けるといった実態は、コロナ下でのまさにニューノーマルの確立の一端ではないかと考えます。国際交流とは、異文化のなかでさまざまなアイデアをぶつけ合い、行動し、一カ所にとどまっているとは得られない経験と知識を獲得することであり、コロナを契機にそのあり方が多様化してきたということもできます。コロナの終息にはいまだ明確な出口が見出せませんが、さまざまな工夫と取り組みによって国際交流の実が上がっていくことを期待したいと思います。

下関市立大学 学長 川波 洋一

# 目次

## ■下関市立大学の国際交流

在籍留学生数	2
海外留学等の体験者数	3
2020年度国際交流イベント	4
下関市立大学でできる国際交流活動	5
日本にいながら世界を知ろう!!	6
日本文化の神髄を知ろう!!	7
下関市立大学の協定校・派遣留学とは	8
外国研修・国際インターンシップ・私費留学とは	10

## ■留学のための経費支援

奨学金	12
授業料・入学金減免制度	14
特待生	14

## ■留学(受入れ)

外国人留学生サポート	16
下関市立大学で学んだ留学生の感想文(短期留学生)	18

## ■派遣留学

北京大学(中国)の紹介	24
青島大学(中国)の紹介	25
銘傳大学(台湾)の紹介	26
派遣留学体験記・参加者レポート	27
東義大学校(韓国)の紹介	33
派遣留学体験記・参加者レポート	34
木浦大学校(韓国)の紹介	38
派遣留学体験記・参加者レポート	39
釜山外国語大学校(韓国)の紹介	41
派遣留学体験記・参加者レポート	42
ロス・メダノス・カレッジ(アメリカ)の紹介	46
ディアブロ・バレー・カレッジ(アメリカ)の紹介	47
派遣留学体験記・参加者レポート	48
コントラ・コスタ・カレッジ(アメリカ)の紹介	52
アルゴマ大学(カナダ)の紹介	53
派遣留学体験記・参加者レポート	54
ボアジチ大学(トルコ)の紹介	56
派遣留学体験記・参加者レポート	57
ルートヴィヒスハーフェン経済大学(ドイツ)の紹介	61
派遣留学体験記・参加者レポート	62
クイーンズランド大学(オーストラリア)の紹介	66
クイーンズランド大学附属英語学校(オーストラリア)の紹介	67
派遣留学体験記・参加者レポート	68
グリフィス大学(オーストラリア)の紹介	70
派遣留学体験記・参加者レポート	71

## ■その他の交流

ワーキングホリデー(オーストラリア)体験記・参加者レポート	76
-------------------------------	----

# 下関市立大学の国際交流

---

下関市立大学では、留学生の受入れ、留学生との交流行事、各種留学、国際理解のための様々な事業を行っています。

# 在籍留学生数

2020年度		中国	台湾	韓国	ベトナム	マレーシア	パキスタン	ドイツ	タイ	トルコ	小計		在籍留学生数合計 64人				
学部1年生	男	1		5							6	12		学部生 49人			
	女	2		4							6						
学部2年生	男	6		4	3						13	14			大学院1年生 3人		
	女	1									1						
学部3年生	男	6		1			1				8	12				大学院2年生 6人	
	女	3				1					4						
学部4年生	男	3		2							5	11					特別聴講学生 (交換留学生) 9人
	女	4			2						6						
大学院1年生	男											3					
	女	3									3						
大学院2年生	男											3	小計 (5月1日現在)				
	女	3									3						
特別聴講学生 (交換留学生)	男		1					2		1	4	9		小計 (5月1日現在)			
	女	4	1								5						
科目等履修生 (外国人留学生)	男											0			小計 (5月1日現在)		
	女																
小計		36人	2人	16人	5人	1人	1人	2人	0人	1人	(5月1日現在)						

2019年度		中国	台湾	韓国	ベトナム	マレーシア	パキスタン	ドイツ	タイ	トルコ	小計		在籍留学生数合計 66人				
学部1年生	男	6		4	3						13	14		学部生 46人			
	女	1									1						
学部2年生	男	6		1			1				8	12			大学院1年生 3人		
	女	3				1					4						
学部3年生	男	2		1							3	8				大学院2年生 5人	
	女	3			2						5						
学部4年生	男	4		1							5	12					特別聴講学生 (交換留学生) 13人
	女	6			1						7						
大学院1年生	男											3					
	女	3									3						
大学院2年生	男											2	小計 (5月1日現在)				
	女	2									2						
特別聴講学生 (交換留学生)	男	2		3				1			6	13		小計 (5月1日現在)			
	女	3	2	1				1			7						
科目等履修生 (外国人留学生)	男								1		1	2			小計 (5月1日現在)		
	女									1	1						
小計		41人	2人	11人	6人	1人	1人	2人	1人	1人	(5月1日現在)						

## 海外留学等の体験者数

年 度		2016	2017	2018	2019	2020
外国研修	中国語	24	29	30	27	—
	韓国語	12	16	13	28	—
	英語	24	26	13	17	—
	小 計	60	71	56	72	—
派遣留学 C C C D	北京大学	—	1	—	—	—
	青島大学	1	1	2	1	—
	銘傳大学	—	2	—	3	—
	東義大学校	2	1	3	—	1
	木浦大学校	1	2	2	—	—
	釜山外国語大学校	—	—	—	2	2
	ロス・メダノス・カレッジ	1	4	—	—	—
	ディアプロ・バレー・カレッジ	—	—	—	2	—
	コントラ・コスタ・カレッジ	—	—	—	—	—
	アルゴマ大学	4	1	5	3	—
	ボアジチ大学	—	1	1	2	—
	ルートヴィヒスハーフェン経済大学	1	2	2	2	—
	クイーンズランド大学	2	2	3	—	—
	グリフィス大学	—	—	—	3	—
小 計	12	17	18	18	3	
国際 インターン シップ	青島市(中国)	6	5	2	2	—
	大連市(中国)	—	—	—	—	—
	釜山広域市(韓国)	3	6	4	2	—
	シンガポール	10	14	11	10	—
	小 計	19	25	17	14	—
その他研修等		34	36	56	16	—
私費留学 (教授会承認分)	中国語圏	—	1	—	—	—
	韓国語圏	—	—	1	1	—
	英語圏	5	2	6	5	—
	その他	—	—	—	—	—
	小 計	5	3	7	6	—
合 計		130人	152人	154人	126人	3人
年 度		2016	2017	2018	2019	2020

この表は、派遣留学、単位認定を伴う科目での海外経験、外国研修やPBL等の参加者、及び教授会で留学目的の休学を認められた私費留学の体験者数です。長期休暇中の海外旅行等は含んでいません。

※2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響のため派遣留学等が延期・辞退となっております。

# 2020年度 国際交流イベント

6月 3日(水)～ 7月 31日(金)	2020年度第Ⅱ期派遣学生募集 (通常の募集期間は4月1日～5月20日、本誌9ページ参照)
6月 29日(月)*	派遣留学(英語)説明会
7月 1日(水)～ 8月 5日(水)*	留学生(学部留学生・大学院留学生)の面談
7月 3日(金)*	派遣留学(英語)説明会
10月 1日(木)～ 11月 20日(金)	2021年度第Ⅰ期派遣学生募集
10月 22日(木)*	留学体験発表会 アルゴマ大学(カナダ)・DVC(アメリカ)
10月 27日(火)*	2020年度第1回日本文化の神髄を知ろう!!
10月 28日(水)*	留学体験発表会 ワーキングホリデー(オーストラリア)
11月 5日(木)*	留学体験発表会 ルートヴィヒスハーフェン経済大学(ドイツ)・ クイーンズランド大学(オーストラリア)
11月 9日(月)*	留学体験発表会 アルゴマ大学(カナダ)・銘傳大学(台湾)
11月 12日(木)	韓国人留学生への防疫物品贈呈式 (駐広島韓国総領事館、韓国教育部下関韓国教育院)
11月 15日(日)	多文化共生ワークショップ講座(しものせき国際交流ねっと)
11月 18日(水)*	留学体験発表会 銘傳大学(台湾)
11月 24日(火) 28日(土) 29日(日)	おもてなし翻訳プロジェクト(下関市国際課) ガイドツアーへのゲスト参加
11月 26日(木)*	2020年度第2回日本文化の神髄を知ろう!!
12月 12日(土)	名陵校区地域こども教室交流
12月 18日(金)*	2020年度第1回日本にいながら世界を知ろう!! アイルランド
1月 15日(金)*	2020年度第2回日本にいながら世界を知ろう!! トルコ
1月 26日(火)	韓国人留学生への防疫物品贈呈式 (韓国教育部下関韓国教育院、山口韓国青年商工会)
2月 20日(土)	名陵校区地域こども教室交流
3月 20日(土)	名陵校区地域こども教室交流
3月 25日(木)	卒業式

※のイベントはZOOM(オンラインミーティングツール)にて開催しました。



# 下関市立大学でできる国際交流活動

国際交流や国際理解は身近なところから始められます。海外に行かなくても下関市立大学の中で様々な国の方々と触れ合ったり、国際交流体験をしたり、国際理解をすることもできます。

例えば、中国をはじめ、台湾、韓国、ベトナム、マレーシア、パキスタン、ドイツ、トルコなどの国々からやってきた留学生が下関市立大学で修学しています。彼らと共に学び、サークル活動やイベントに参加することで、国際交流や国際理解、異文化理解が深まります。海外からのお客様をお迎えし、学生と交流をする企画等もあります。国際交流センターでは多くの学内外での国際交流活動の企画や紹介を行っています。

また、国際交流を行っている学内の学生サークルやサポート組織、自主サークルもあります。国際交流に関係のある学生グループの主な活動は以下のとおりです。

## 1. 国際交流会ともだち

- 4月 留学生歓迎会
- 5月 交流キャンプ
- 7月 世界の厨房から
- 10月 大学祭への出店や国際交流イベント
- 12月 ユネスコ主催クリスマスパーティーのサポート
- 1月 留学生送別会



## 2. JASH!!!

- 週2回 英語によるプレゼンテーションやコミュニケーションスキルの学習
- 10月 ハロウィンパーティー
- 12月 クリスマスパーティー



## 3. WSK

- 国際ボランティア活動
- Table for Two などの企画
- 世界のボランティア活動紹介
- 夏休みや春休みに海外でボランティア活動に参加

## 4. 中国語しゃべっチャイナ

- 週2回 中国語によるプレゼンテーションやコミュニケーション、中国文化学習
- 11月 中国語スピーチコンテストのサポート
- 1月 食・見・交・群～餃子パーティー～のサポート



※2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、従来の活動ができなかったため、2019年度の活動を参考掲載しております。

# 日本にいながら世界を知ろう!!

「日本にいながら世界を知ろう!!」は、下関市立大学の学生や地域のみなさんに、世界中で起きていることや暮らしの様子、歴史的な事柄などを知ってもらうことを目的として、各テーマ国の方や、その国で暮らしたことのある方々にお話をしていただく企画です。2020年度はZOOMを使ったオンラインで2回開催しました。

## 第1回

タイトル：アイルランドの人間力

開催日時：2020年12月18日（金） 16:30～18:00

講師：藤田 需子（アイルランド在住のフォトグラファー）

参加者数：15名

内容：2002年からダブリンでフォトグラファーとして活動し、近年はソーシャリーエンゲージアートの分野で日本とヨーロッパで活躍中の藤田需子さんに、アイルランドの歴史、街並み、ジェームスジョイスの世界観、そしてダブリンに住む人々についてアーティストの視点でお話をしていただきました。いつかアイルランドへ行き、実際に見て話して触れたいと思うような講演でした。



## 第2回

タイトル：トルコから来た僕とオンラインで会いましょう!!

開催日時：2021年1月15日（金） 13:10～14:40

講師：アルバイ トウンチュ（特別聴講学生）

参加者数：17名

内容：ボアジチ大学（トルコ）からの交換留学生トウンチュさんに、生まれ故郷のエスキシェヒル県、大学があるイスタンブール市、ボアジチ大学のお話をしていただきました。全く異なる文化を持ち、違う言語や文字を使う国々に囲まれているトルコは、食文化も生活環境も個性的で、四季の美しい国です。まるでトルコを旅しているように感じた時間でした。



# 日本文化の神髄を知ろう!!

「日本文化の神髄を知ろう!!」では、留学生を含む本学の学生全員に日本文化への興味を喚起し、理解してもらうことを目的として、2008(平成20)年度から実施しています。

2020年度は2回開催しました。今年はZOOMを使ったオンライン開催になりましたが、ドイツや中国、アイルランドからの参加もありました。

## 第1回

タイトル：創業78年目の割烹旅館寿美礼の経営者に聴く

実施日：2020年10月27日(火) 16:30～18:00

参加者数：13名

内容：割烹旅館寿美礼(山口県下関市竹崎町3丁目13-23)の経営者である和田健資氏からお話を聞きました。下関の歴史を見つめ営業を続けている旅館の「おもてなし」とは何か、ホテルと旅館の違い、旅館にとって良いお客様とはどんな方かなどについて、心温まるエピソードなども交えてお話いただきました。参加者と講演者が掛け合いながら進行する視聴者参加型の講演でした。



## 第2回

タイトル：下関の歴史を見つめ続ける大歳神社の神主さんに聴こう

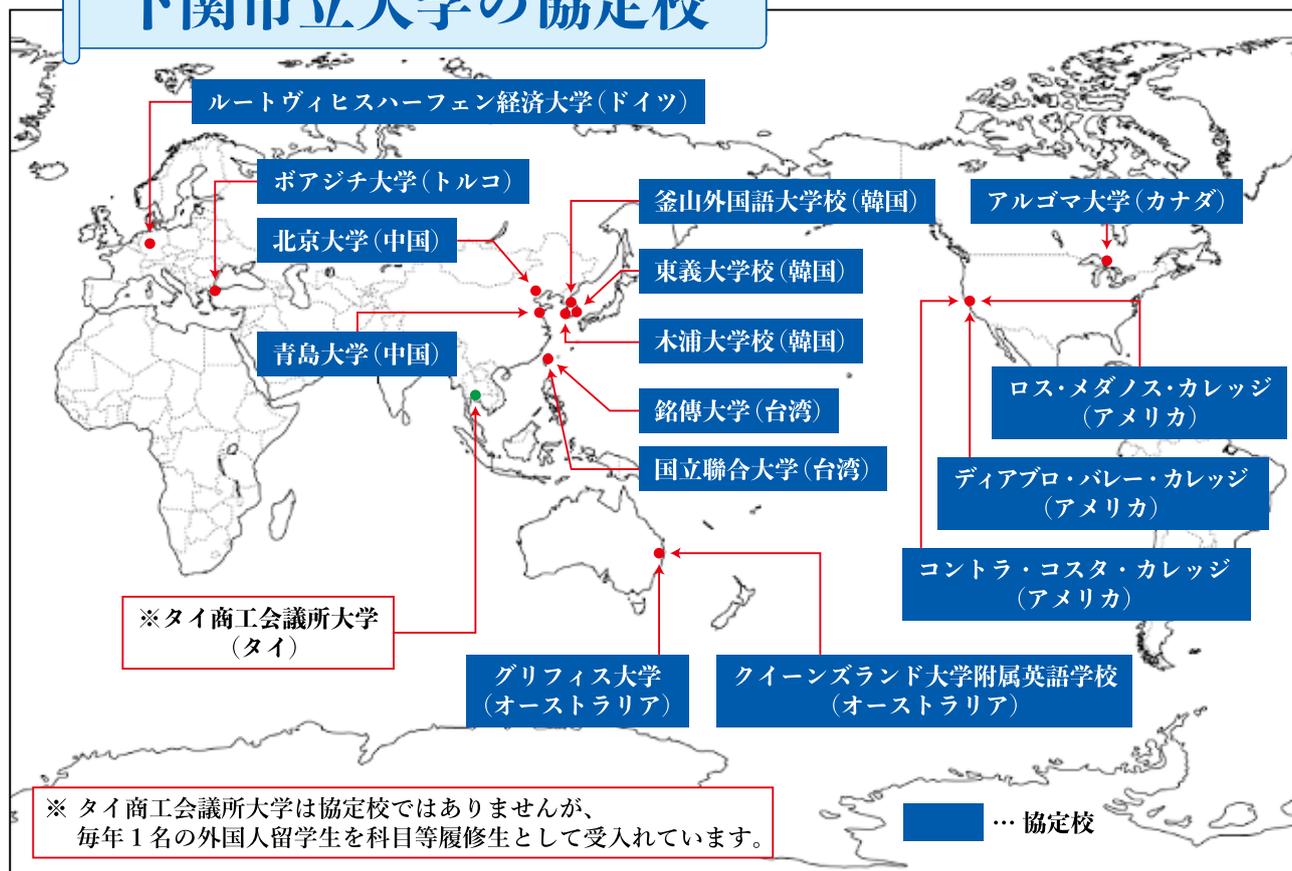
実施日：2020年11月26日(木) 16:30～18:00

参加者数：15名

内容：大歳神社(山口県下関市竹崎町1丁目13-10)の宮司 森裕宣氏から、神社とは何か、どうやって形成されたのか、役割は何か、正しい参拝のマナー指導、神社が関係する年中行事、年齢を重ねるごとの行事の紹介と説明に大歳神社のいわれ等を交えて、宮司としての視点でお話をいただきました。幅広い話題の中、参加者の反応を見ながら、臨機応変に進行していただいた講演でした。



## 下関市立大学の協定校



下関市立大学には、3つの理念と目的があります。その中の一つに「東アジアを中心に広く世界に目を向けた教育と研究」があります。下関市立大学では下関からアジア、さらには世界へと目を向けることで、現在の国際関係がどのような構造を持っているか、また、それがどのようにして作られてきたのかを理解できる教育を行っています。教職員と学生が一体となり、世界へ広がるネットワークを形成しています。

この理念に基づき、本学には世界各国に協定校があります。2020年5月現在、中国に2校、台湾に2校、韓国に3校、アメリカに3校、カナダに1校、トルコに1校、ドイツに1校、オーストラリアに2校の合計15校の協定校があります。これらの協定校との交流は、学術交流や学生間交流等様々ですが、相互に交流を深めています。

## ●派遣留学とは……

派遣留学とは、1学期間～1年間、本学に在籍したまま海外の協定校に留学することです。留学期間は4年間の修業年限に含まれます。また、派遣先大学で修得した単位は、帰国後所定の手続きを経て本学の授業科目に単位認定されます。

授業料は、原則下関市立大学に納入することになりますが、派遣先大学に授業料を納付する場合があります。その場合は所定の手続きを経て本学の授業料が免除されます。

なお、派遣留学申請をするためには、必要な資格や語学レベル等の条件があります。募集期間や派遣人数、試験内容、必要資格等は次ページのとおりです。

詳細については、国際交流センターへお問い合わせください。

## 1. 第I期派遣学生

- (1) 募集期間 10月1日～11月20日  
 (2) 派遣先協定校 表1参照  
 (3) 選抜試験の時期 11月20日～12月上旬(面接試験・筆記試験)  
 (4) 派遣学生の決定 12月第4週頃

表1

国名	中国		台湾	アメリカ	トルコ	ドイツ	カナダ	オーストラリア
大学名	北京大学	青島大学	銘傳大学	CCCCDの3大学 ロス・メダノス・カレッジ ディアプロ・パレー・ カレッジ コントラ・コスタ・ カレッジ	ボアジチ 大学	ルートヴィヒス ハーフェン 経済大学	アルゴマ 大学	クイーンズ ランド 大学附属 英語学校 (ICTE-UQ)
派遣期間	9月～翌年8月			8月～翌年7月	9月～翌年8月		5月～翌年3月 9月～翌年8月	2月～同年9月 8月～翌年3月
	1学期間(1セメスター)のみの申請も可能ですが、1年間を希望する学生が優先になります							
募集人数	2名以内	5名以内	3名以内	4名以内	2名以内	2名以内	4名以内	半期× 4名以内
選抜試験	筆記試験および面接試験			面接試験				
必要資格	中国語検定 3級 HSK4級	中国語検定 4級 HSK3級	中国語検定 4級 HSK3級	IELTS 5.5点 TOEFLiBT 61点	IELTS 6.5点 TOEFL iBT 79点	IELTS 5.5点 TOEFL iBT 70点 TOEIC 650点	IELTS 6.0点 TOEFL iBT 79点	英検、TOEIC、 IELTS、TOEFLiBT いずれかの 受験結果
授業料 納入先	北京大学 (下関市立大学の 授業料は免除)	下関市立大学		CCCCDの各大学 (下関市立大学の 授業料は免除)	下関市立大学		アルゴマ大学 (下関市立大学の 授業料は免除)	ICTE-UQ (下関市立大学の 授業料は免除)

## 2. 第II期派遣学生

- (1) 募集期間 4月1日～5月20日  
 (2) 派遣先協定校 表2参照  
 (3) 選抜試験の時期 5月20日～6月上旬(面接試験・筆記試験)  
 (4) 派遣学生の決定 6月第4週頃

表2

国名	韓国			オーストラリア	
大学名	東義大学校	木浦大学校	釜山外国語 大学校	グリフィス大学	グリフィス大学附属 英語学校(GELI)
派遣期間	3月～翌年2月			2月～翌年1月	9月～翌年2月
	1学期間(1セメスター)のみの申請も可能ですが、1年間を希望する学生が優先になります				
募集人数	2名程度	2名程度	2名程度	2名程度	
選抜試験	筆記試験および面接試験			面接試験	
必要資格	—			IELTS 6.0点 TOEFLiBT 71点	英検、TOEFLiBT TOEIC、IELTS いずれかの受験結果
授業料 納入先	下関市立大学			グリフィス大学 (下関市立大学の授業料は免除)	GELI

## ●外国研修とは……

夏季休業中に2～5週間、海外の協定校などで行う語学研修のことを外国研修といいます。外国研修では、語学の研修だけでなく、様々な文化体験や交流行事がプログラムされています。

「外国研修(英語、中国語、韓国語)」は、正規の授業科目のため単位認定されます。

### 1. 過去3年間の記録

	2018年			2019年			2020年		
	受入れ機関	国名	参加人数	受入れ機関	国名	参加人数	受入れ機関	国名	参加人数
英語	VIEC Education Canada Ltd	カナダ	13名	ICTE-UQ	オーストラリア	17名	非開講		
中国語	銘傳大学	台湾	30名	青島大学	中国	27名	非開講		
韓国語	東義大学校	韓国	13名	東義大学校	韓国	28名	非開講		
	合計	56名		合計	72名		合計	-	

※2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響のため非開講でした。

### 2. 2021年度の実施予定プログラム

国際交流センターへご確認ください。

## ●国際インターンシップとは……

国際インターンシップは、海外における企業の現場で働く体験をすることにより、自ら考え学ぶ意識を持つことを目標に実施しています。

事前学習4.5時間(事前講義)、夏季休業中の就業体験(計40時間以上)、そして報告書の作成・提出、報告会での発表などの事後学習(4時間)を経て、総合的に評価され秋学期に単位認定されます。

## ●私費留学とは……

本学を休学して、海外の大学などに私費で留学をします。(単位認定を目的とした私費留学の制度もあります。) また、長期休業中などを利用して協定校附属の語学学校などで、語学を修得することもできます。

# 留学のための経費支援

---

外国人留学生や日本人留学生のために奨学金や授業料の減免措置などの経済的支援があります。

## 奨 学 金

### 海外留学支援制度(短期派遣・短期受入れ) (対象：日本人学生および外国人留学生)

協定校へ派遣留学する日本人留学生および協定校から本学に受け入れる留学生を対象とした、返還の義務のない給付型奨学金です。独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)から支給され、月額甲地域80,000円、乙地域70,000円、丙地域60,000円(2020年度実績)です。3ヶ月以上1年未満の留学期間に応じて支給されます。本学における協定校別受給者数は以下のとおりです。

### 海外留学支援制度(給付型奨学金)受給者数一覧表

〈単位：人〉

国名 (区分)	受入/ 派遣大学	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
		受入	派遣								
中国 (丙)	北京大学										
	青島大学	5	1	5		5	2	5			
台湾 (丙)	銘傳大学	2		2	2	1		2	2		
韓国 (乙)	東義大学校		2	2	1	2	2	1			
	木浦大学校	2	1	2	1	2	2		2		
	釜山外国語大学校										
アメリカ (甲)	ロス・メダノス・カレッジ ディアプロ・バレー・カレッジ コントラ・コスタ・カレッジ										
カナダ (甲)	アルゴマ大学										
トルコ (甲)	ボアジチ大学				1				1	1	
ドイツ (甲)	ルートヴィヒス ハーフェン経済大学	2		2	1	1	1	1	2		
オーストラリア (乙)	クイーンズランド 大学		1		1		3				
	グリフィス大学										

■ = 給付対象者なし

※2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により多くの留学が延期・辞退となっております。  
また、外務省の危険レベル2以上に該当する地域へ留学する場合は支給がありません。

### 第二種奨学金(短期留学) (対象：日本人学生)

協定校へ派遣留学する日本人学生を対象とした、返還の義務のある貸与型奨学金です。日本学生支援機構に所定の手続きを行うことで、派遣先大学への派遣留学期間に奨学金の貸与を受けることが可能です。

貸与金額は以下のとおりです。

30,000円(学部生のみ)、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円、150,000円(大学院生のみ)から選択できます。

### 下関東ロータリークラブ奨学金 (対象：日本人学生)

下関東ロータリークラブが、英語圏に留学する日本人学生を対象に月額50,000円の奨学金を支給しています。

### 外国政府等奨学金 (対象：日本人学生)

外国政府および外国政府関係団体等が、その国や地域の大学等へ留学する日本人を対象に奨学金を支給しています。募集中の奨学金については学内の掲示板やホームページに随時掲示しています。

### 文部科学省外国人留学生学習奨励費（対象：外国人留学生）

我が国の大学等に在籍する私費外国人留学生で、学業、人物ともに優れ、経済的理由により修学に困難がある者に対し、奨学金を1年または6ヶ月間給付するものです。

2020年度大学院生（渡日前入学許可制度による入学予定者対象）が受給採用（月額48,000円給付）されましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により入国できず、辞退となりました。

### 文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者数一覧表

〈単位：人〉

採用時期	所 属	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
		応募者	受給者	応募者	受給者	応募者	受給者	応募者	受給者	応募者	受給採用者
4月採用	学 部	5	1	7	1	9	1	7	2	—	—
	大学院	2	2	1	1	2	1	2	1	2	2
10月採用	学 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	大学院	5	1	2	1	—	—	—	—	—	—
合 計		12	4	10	3	11	2	9	3	2	2

### 公益財団法人JEES日本語教育普及奨学金（日能）（対象：外国人留学生）

採用年度に正規生として受給期間が1学年相当以上あり、一定期間内に日本語能力試験N1を受験し、170点以上（中国語・韓国語以外を母国語とする者は100点以上）の成績を修めて合格した日本語指導者をを目指す者が対象です。受給期間は最長2年間です。他の奨学金との併給はできません。

### 公益財団法人ロータリー米山記念奨学金（対象：外国人留学生）

採用年度に学部3・4年生あるいは大学院に在籍している（在籍予定者を含む）外国人留学生で、日本以外の国籍および在留資格「留学」を有し日本に在留している者を対象に、学部留学生月額100,000円、大学院留学生月額140,000円が給付される奨学金制度です。学業、人物ともに優れた45歳未満の者が対象です。受給期間は最長2年間です。他の奨学金との併給はできません。

### 公益財団法人平和中島財団奨学金（対象：外国人留学生）

採用年度に正規課程に在籍している（在籍予定者を含む）私費外国人留学生で、学業、人物ともに優れており、月額30,000円を超える他の奨学金を受給していない者に対して、月額100,000円が給付されます。受給期間は1年間です。

### 公益財団法人朝鮮奨学会 大学・大学院奨学生（対象：外国人留学生）

採用年度に正規課程に在籍している韓国人・朝鮮人学生のうち、成績が優良で学費の支弁が困難な者で、当奨学金と同額以上の給与奨学金を受給していない者に対して、学部生月額25,000円、大学院生月額40,000円が給付されます。受給期間は1年間ですが、継続生として応募することで2年間の受給も可能です。

### 株式会社共立メンテナンス奨学基金奨学金（対象：外国人留学生）

採用年度に在籍残時間が最低2年以上の外国人留学生で、学業、人物ともに優れており、月額50,000円を超える他の奨学金を受給していない者に対して、月額60,000円が給付されます。受給期間は1年間です。

### 公益財団法人SGH財団奨学金（対象：外国人留学生）

採用年度に学部3年次かつ東南アジア諸国の国籍を有する私費外国人留学生で、学業、人物ともに優れており、他の奨学金を受給していない者に対して、月額120,000円が給付されます。受給期間は2年間です。

## 公益財団法人似鳥国際奨学財団奨学金 外国人私費留学生 (対象：外国人留学生)

採用年度に正規課程に在籍している(在籍予定者を含む)私費外国人留学生で、学業、人物ともに優れており、他の奨学金を受給していない者に対して、月額80,000円が給付されます。受給期間は1年間です。この奨学金は応募者が直接、当該財団に申請します。

### 各種奨学金受給者数一覧表

〈単位：人〉

奨学金名	所属	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
		応募者	受給者								
公益財団法人 JEES日本語教育 普及奨学金(日能)	学 部	—	—	2	0	2	2	2	(2)	0	0
	大学院	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0
公益財団法人 ロータリー米山 記念奨学金	学 部	1	1	—	(1)	—	—	1	0	1	1
	大学院	3	0	—	—	—	—	0	0	0	0
公益財団法人 平和中島財団 奨学金	学 部	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0
	大学院	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
公益財団法人 朝鮮奨学会 奨学金	学 部	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	大学院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社 共立メンテナンス 奨学金基金奨学金	学 部	1	0	1	0	1	1	1	0	1	0
	大学院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公益財団法人 SGH財団 奨学金	学 部	0	0	0	0	1	0	1	1	0	(1)
	大学院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公益財団法人 似鳥国際奨学財団 奨学金	学 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	大学院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※ () 内の数字は受給期間2年目の人数です。

## 授業料・入学金減免制度

学部および大学院に在籍する私費外国人留学生が対象の制度です。私費外国人留学生が属する世帯の総所得金額が別に定める基準額以下の学生で、学業成績が良好で最短在学期間で卒業または修了できる見込みがある場合には、授業料および入学金の額の2分の1に相当する額が減免される制度です。

### 授業料・入学金減免実施状況

〈単位：人〉

	学期	所 属	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
			申請者	減免決定者								
授業料 減免	前期	学 部	43	42	34	34	32	31	36	35	35	32
		大学院	7	7	6	6	5	5	5	5	6	6
	後期	学 部	42	42	35	34	34	34	36	33	35	35
		大学院	7	7	6	6	5	5	5	5	6	6
入学金減免	学 部	7	7	6	6	8	5	9	6	6	6	
	大学院	3	3	1	1	2	2	3	3	2	2	

## 特 待 生

学力が優秀であると認められる学部学生を特待生として認定する制度があります。特待生の人数は学部留学生全員から2名、期間は1年間です。

特待生の認定は、前年度の成績に基づき行われます。ただし、入学後4年を超えて在学している留学生や懲戒を受けている留学生は対象外となります。

特待生となった留学生は、認定された期間の授業料の2分の1に相当する額が免除されます。

# 留学（受入れ）

---

# 外国人留学生サポート

## 留学生チューター制度

本学に在籍する外国人留学生（外国人特別聴講学生および科目等履修生を含む）のために学修や生活の支援を行う留学生チューター制度があります。留学生チューターは、原則として2年生以上の学生（大学院2年生を含む）の中から学長が委嘱します。サポート期間は入学後1年間です。

留学生チューターは、原則留学生1人に対して1名が学習面だけでなく生活面のサポートも行います。下関市内探検・防災ツアーやリサイクルプラザ見学など、留学生と留学生チューターの交流を深める行事もあります。

また、毎月開催される留学生チューター会では、必要なサポート指導や連絡事項の伝達のほか、留学生チューター同士の意見交換会などの交流も行います。

## 外国人留学生との面談

1年に1回、学部および大学院留学生の個別面談を2003年度から実施しています。

この面談では、これまでの学習や健康状態、アルバイトの状況、今後の履修や生活の計画、卒業後の進路相談、そして大学への要望等の聞き取りを行っています。留学生活における問題点をより早く解決し、相談や助言を通して教職員と留学生の交流を深めることができます。

## 留学生のための学内行事

下関市内探検・防災体験ツアー（4月・9月）

環境みらい館見学・紙すき体験（4月・9月）

留学生歓迎会（4月）

留学生の面談（4～5月）（2020年7月ZOOM面談）

日本文化の神髄を知ろう!!（7月・11月）（2020年10月、11月ZOOM開催）

日本語スピーチコンテスト（11月）



## 花柳流日本舞踊サークルへの参加

公認サークル「さくら」では、花柳流師範の花柳英佳和先生による本格的な日本舞踊の指導を受けることができます。

稽古（練習）の成果は、7月の世界の厨房から（国際交流会ともだち主催）や10月の大学祭で披露します。



## 外国人留学生と地域住民の交流

外国人留学生は、様々な形で市民との交流を図り、今や「小さな国際都市・下関」にとって、なくてはならない存在です。外国人留学生の活動は、交流学习への派遣、地域の各種イベント等への参加、ボランティア活動への参加などがあります。

### (1) 交流学习への留学生の派遣

国際理解教育に取り組んでいる地域の小・中・高等学校の児童や生徒と触れ合うことにより、留学生の文化や生活習慣などの紹介をしています。また、要請があれば国際交流や国際理解に関心のあるこども園等への派遣にも対応しています。

- ・名陵校区地域こども教室(偶数月)  
(2020年12月派遣再開)
- ・社会福祉法人三明会豊北きらきらこども園(毎月)



### (2) 地域の各種イベント・ボランティア等への参加について

外国人留学生は地域での各種イベントに積極的に参加しています。定期的に参加しているイベントは以下のとおりです。

- ・花見例会(4月) 一下関中央ロータリークラブ
  - ・酒造祭り(4月・10月) 一下関酒造
  - ・先帝祭 安徳帝正装参拝(5月)
  - ・下関市内在住留学生交流会(5月) 一下関ロータリークラブ
  - ・関門女子旅まちあるき(6月) 一関門海峡観光推進協議会
  - ・朝鮮通信使行列参加・通訳ボランティア(8月) 一下関市
  - ・滞日体験発表会(11月) 一下関日中友好協会主催
  - ・日中友好交誼会(11月) 一下関日中友好協会主催
  - ・国際親善パーティー(12月) 一下関市ユネスコ協会主催
- その他にもたくさんのイベントに参加しています。



※2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、従来の活動が困難だったため、2019年度の行事や交流を参考掲載しております。





## 幸せな一年

氏名：鞆 雨 (特別聴講学生)  
出身大学：青島大学 (中国)  
留学期間：2019年9月～2020年8月



下関市立大学での1年間は生まれてから最も大切で幸せな1年間でした。ここでたくさんの人生初めての体験をしました。

10月にバイトを通して日本の酒造祭りを体験しました。その時の私は言いたいことがまだ言葉で言い表せませんでした。でも、お客様方は優しく、言い間違っても「頑張ってね!」と励ましてくれました。その日から知らない人と話すことは、そんなに恥ずかしくないと気づいて、日本語で話す勇気がどんどん生まれてきました。

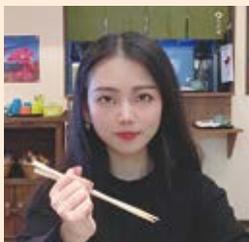
その月の末に市立大学でハロウィンパーティーに参加しました。主催者はたくさんのゲームやお菓子などを用意し、ゲームを通して日本人の学生と喋るようになりました。このパーティーで日本の学生の優しさをしみじみ感じて、市立大学での生活がもっと好きになりました。

11月は日中友好交誼会に参加しました。先輩たちの発表を聞いた後、自分の日本語の勉強がまだ遠道を歩かなければならないとわかって、今後もっと頑張ろうと決めました。また下関市の会長の賀詞を聞いて心が温まりました。日本と中国がずっと友好関係を保ち続けることを望みます。

このように前半期を楽しく過ごしました。その後、新型コロナウイルス感染症が流行し始めました。北海道旅行の予定をキャンセルし、セブンイレブンのバイトも一度は辞めて、とても慌てていました。しかし、先生たちは優しく、生活の面だけではなく、心理的な面でも私たちに細かい心遣いをくれました。先生たちの助けのおかげで、自分も心が落ち着き、積極的に毎日を送っていました。遠隔授業が少し大変でしたが、先生や友人たちとオンラインで会えるのはとても便利で満足しています。

もうすぐ帰国しなければならないのでとても名残惜しいです。和気藹々と過ごしたおじいさんとおばあさん、優しい先生、可愛い友達、親切な店長と店員さん、ここで逢ったみんなを忘れません。きれいな下関市立大学、静かな国際交流会館、美しい山の風景、ここで見たことを全部忘れません。

帰国してもここでの貴重な思い出を一生、心に留めます。この1年間いろいろお世話になり、本当にありがとうございました。さよならは言いません。私たちは縁があるので、絶対再会すると信じています。



## 一年間の思い出

氏名：伍 陽春 (特別聴講学生)  
出身大学：青島大学 (中国)  
留学期間：2019年9月～2020年8月



令和元年9月に日本へ来てから、もう1年が経った。正に光陰矢の如し。この1年間を回顧すると、なんだか感慨深い。期待と喜び溢れる前半では、新しい友達ができるチャンスがいっぱいで、一緒にあちこちへ遊びに行った。そして、着物を着て日本舞踊の稽古をし、餅つきをして新年を迎え、素敵な日本文化を満喫した。また、年末に大阪と京都を旅行、クリスマスの雰囲気を楽しんだ。

後半も、このようなペースで、いい思い出がたくさん作れますように」と願いながらも、新型コロナウイルス感染症は拡大し、誰もが想像したことのないこの事態は、この1年間の交換留学生生活を往年と違うものにした。

春休みの北海道旅行に限らず、東京オリンピックの延期と共に、夏の東京への旅もキャンセルせざるを得なかった。自粛したり、遠隔授業を受けたりするのが、後半期の生活といえる。最初の頃は対面授業のように上手に行かないだろうと心配したが、いいところがあると感じた。

まず、一人きりで過ごす時間が十分あるため、自分を深く見つめ直すことができたところである。メディテーションを通じ、雑念を払い、乱れた心をより澄んで明晰な状態にした。「7月のN1の試験が全面中止になっても、しっかり課題に取り組んでいこう!」「オンライン授業を大切にし、積極的に先生と相談してみよう」とどんどんやる気が湧いてきた。そして自然な口語の日本語を話すために、更なる努力を必要とする私は、勇気を出し、思い切ってオンライン授業で発言し、その後も沢山喋ってしまった。日本人学生が発言する時の口語表現を見様見真似したことのみならず、先生とのコミュニケーションも、私の日本語口語における勉強が大変役に立ったので、楽しかった。しかし、いつも悩んでいた卒業論文と進学

の将来について、なかなか進められず、勉強不足を痛感し、自信がなくなりイライラしたり落ち込んだりすることもあった。そんな時、三成先生にこう励ましていただいた。「上達のミソは、input (読む・聞く) と output (話す・書く) の絶対量を増やすことです。どんな愚か者でも日本人なら日本語を話せるでしょう? それはその絶対量が違うからだと思います。」それは涙を誘う言葉だった。その瞬間、日本語を勉強しようと決めた時の気持ちを思い出し、元気に戻った。また、サリバン先生に「どうして先生は、先生になりたかったですか」と失礼な質問をし、「社会をよくするのは教育だから」と返事していただき、二度目の感銘を受けた。不安感がなくなり、今の自分を見直し、将来の自分についても少し考えることができ始めた。



この1年間は、思いがけない出会い、忘れられないほど深く感動して心に刻まれたことに満ちている。日本に来て下関市立大学に留学してよかったとしみじみ感じている。



## 下関での一年間

氏名：鄒毅金(特別聴講学生)  
出身大学：青島大学(中国)  
留学期間：2019年9月～2020年8月



あっという間に2020年8月になりました。「光陰矢のごとし」の言葉を自分自身で経験しています。去年の夏から今年の梅雨まで、日本の四季を体験しました。今回の留学は人生初めての海外留学で、いろいろなかけがえない思い出を作りました。

下関市で道に迷ったことがあります。日本に来たばかりで生活用品がまだ揃っていませんでしたので、みんなで一緒に買い物に行きました。夜は暗く街灯も少なく帰る時に道を間違えました。その時通りすがりの人に道を尋ねました。説明してくれたのですが、正しい方向が分かりませんでした。困っていた私たちの顔を見て、最終的にその方は先導してくれました。その時に日本人の優しさをしみじみ感じました。

最初の2ヶ月は日本語でコミュニケーションをとることが心配でした。使った言葉は正しかったか、表現は間違いないかと思っ、なかなか話が進みませんでした。その時は先生と留学生チューターさんにいろいろ助けてもらいました。日本語の授業の中で先生は話のスピードを遅くしたり、言葉もわかりやすく変えたりしてくれました。日本語以外の授業でわからないところは留学生チューターさんに聞くと、いつも優しく説明してくれました。言葉や文法が違っていても日本語を話せるようになりました。

11月にアルバイトを始めました。バイト先は住んでいる場所からすこし遠かったのですが大学の先輩がいるのでそこに決めました。オーナーさんもパートさんもいつも優しく仕事を教えてくれました。本当にいろいろお世話になりました。アルバイトのほかに、寮の前に住んでいるおじいさんにもいろいろお世話になりました。花見に連れて行ってもらったり、時々料理も作ってくれたりしました。本当に感謝しています。

1年という時間は長くもあり短くもありました。1年間の思い出はここに記したこと以外にもたくさんあります。私にとっては全部貴重な体験です。これらのかけがえない思い出を大切にしていきたいと思います。



## 一年間の思い出

氏名：李亜彤(特別聴講学生)  
出身大学：青島大学(中国)  
留学期間：2019年9月～2020年8月



2019年9月に初めて日本に来ました。それまで外国に行ったことがなかったので、心細く大丈夫かなと思いがらでした。来たばかりの時、全く色々なことがわからなかったし、慣れないこともたくさんありました。コンビニで、「温めますか、袋はご利用ですか」と聞かれてもわからなかったことやレストランに行った時、何も言えなくて、指で指しながら「これ、これとこれにします」と注文することなどがよくありました。今はもう慣れましたが、あの時はとても緊張しました。このような体験は外国人ならよく知っているはずですが。

前期はたくさん見学しました。10月の最初は下関市ならではの酒造祭りを体験し、中旬は日本の伝統的な着物を着て、日本舞踊を披露しました。11月の最初は市大の学生たちと一緒にパーティーをし、ゲームをすることで、ハロウィーンを祝いました。初めは少し緊張しましたが、次第に盛り上がり皆楽しく過ごしました。12月には先生が海峡ゆめタワーに連れて行ってくださいました。みんなで立派なタワーを見たり、一緒にご飯を食べたりしました。色々な見学で色々な国から来たクラスメートたちと親しくなったり、それぞれの国の文化を知ったり、日本についてもより分かるようになっていたり、大いに収穫がありました。

そして、色々なところに旅行に行きました。福岡は都市と田舎のバランスがよく、とても住みやすい感じがします。大阪はさすが大都市で賑やかです。買いたいものは何でも買えます。京都は他とはまた違い、古く、昔の中国のような感じがするところです。

この1年という時間はとても短く感じました。特に新型コロナウイルス感染症のせいで春学期は遠隔授業となり、ほぼ毎日家にいました。そのためさらに名残惜しくなりました。やさしい先生、お世話になったおじいさんとおばあさんたち、セブンイレブンの皆さん……まだたくさん話したくても、そろそろ「さようなら」を言わなければならない時になりました。この1年間のことは一生忘れられないです。色々ありがとうございました。





## 一年間の思い出

氏名：謝 育岭 (特別聴講学生)  
出身大学：銘傳大学 (台湾)  
留学期間：2019年9月～2020年8月

おばあさんは日本文化や習慣が好きで、広島大学を卒業後台湾に帰って日本語の通訳に関する仕事をしています。小さい頃からおばあさんがペラペラと日本語で電話をしている姿を、非常に感心して見ていました。これがきっかけとなり、言語に興味を持ち、大学で日本語学科に入りました。日本語を2年間くらい勉強している私が、下関市立大学に留学する資格を得たのはまるで夢のような出来事でした。しかし、時間が経つのは早く、学期がもうすぐ終わってしまいます。この1年間、下関市で外国の仲が良い友達を作ったり、一緒に日本の観光地やお寺に行ったり、たくさん珍しい思い出を作れたのがうれしいです。最初、生活習慣やルールに分からないことが多く、色々なミスをしました。最後にはそれが良い習慣や礼儀になり、日本がもっと好きになりました。

留学の間に旅行や勉強したことが一番印象強いです。そしてあとひとつ非常に重要なチャレンジがありました。それは「人とのコミュニケーション」です。言語が違うので、悪気はないのに時々誤解が起きます。その場合は、自分の考え方を日本語で意思表示することが大切だと思います。ミスや誤解の中で経験を積み、ちゃんと覚えて成長したことが一番達成感のあったことです。それは留学中に経験した一生忘れない経験です。

新型コロナウイルス感染症が流行って半年間、下関市での生活もちよっと変わりました。遠隔授業になったので、時間とスケジュールの管理を学ぶ必要があり、健康のため毎日で運動する習慣も身につけました。この半年間学校に行けず、先生や友達に会えず、不便になりましたが、他の留学生はそんな体験ができないと思って頑張っています。日本で生活することで豊富な体験ができました。一生忘れられないです。台湾にこの思い出を持って帰り、将来は日常生活や仕事でこの培った能力をしっかりと振るうのを楽しみに頑張ります。



## 楽しい留学生活

氏名：楊 禹恆 (特別聴講学生)  
出身大学：銘傳大学 (台湾)  
留学期間：2019年9月～2020年8月

1年間の留学生活は本当にあつという間です。2020年はあいにく新型コロナウイルス感染症が流行しました。1年の半分がほとんどなくなったようなものです。それでも、いろいろな思い出を作りました。

日本に来てから一番大きな変化はおそらく、自分の日本語を聞く能力がよくなったことです。毎日耳にする言葉が日本語なのですぐ慣れました。これが日本に来て一番のメリットだと思います。

この1年間、たくさんのところにいろいろな体験をしました。一番印象に残ったのは初詣です。日本へ来る前に、よくドラマやアニメで日本の初詣を見ました。それはずっと憧れでした。はるばる日本へ留学しに来たのだから、初詣に行かない理由はありませんでした。私は31日の深夜から神社の前で待たため、真冬の深夜はたとえようもなく本当に寒かったです。それでも、この人生初めての初詣の経験はとて素晴らしい思い出になりました。

新型コロナウイルス感染症の流行で2020年はどこへも行けませんでした。せっかくの留学生活の後半は全部無くなったようなものです。学校も行けなくなり授業も全部オンラインへ変更され、とても残念でした。



この退屈な日々の中でバイトを始めました。バイト生活はとても大変でした。ほぼ毎日の夜の自由時間が無くなりました。休日も全部バイトでした。とても疲れましたが、楽しかったです。生活も充実しました。

今回、日本へ留学に来て本当によかったと思います。慣れた国から離れて、海外で一人生活するのはとても貴重な経験です。おかげでいろいろ勉強しました。そしてこの機会からもう一度、本当に日本が好きだという気持ちを確認しました。

この1年間に起きた出来事や様々な体験は、楽しいことも、悲しいこともありました。留学が終わった今、これまで出会い助けてくれた人たちに感謝しています。留学で学んだことがこれからの私に役立てばいいと思っています。





## 留学を終えての感想文

氏名：パトリック マクシミリアン ビエラ (特別聴講学生)  
出身大学：ルートヴィヒスハーフェン経済大学 (ドイツ)  
留学期間：2019年9月～2020年8月

2019年9月中旬飛行機で14時間ぐらいかけて下関市に着きました。最初の週に国際交流センターの人たちは廃棄物の分別や、健康保険について教えてくれました。その上私は初めての一人暮らしでしたので、たくさん新しい事を習わなければいけませんでした。一番大変なことは説明があまりわからなかったことでした。来日前に、JLPTのN4レベルしか日本語を勉強してこなかったため、慣れることは難しいと思いました。

10月に「国際交流会ともだち」というサークルが大分県の別府市へ旅行に連れていってくれました。留学生が招待されました。その旅行で初めて日本人大学生と一緒に居酒屋や温泉に行きました。出身は違うけど、パーティーの考え方は同じでした。日本語の授業だけを取っていたので、滅多に日本の大学生と知り合いません。しかし、その旅行で私は友達ができました。

その後、新型コロナウイルス感染症は旅行の予定を変更させただけではなく、授業も生活環境も変化させました。授業は秋学期が最も難しかったです。私は専攻が経営学と日本語なので、中国人や台湾人の留学生の日本語と比べて上手ではないと思います。しかし、頑張ったので無事試験に合格できました。春学期は新型コロナウイルス感染症のせいで、授業は全部オンラインでした。その上、安全のためにあまり出かけませんでした。最初は大変でしたが、2か月経てば慣れてきました。下関市立大学は変化にたやすく順応したので、留学生たちは帰国の必要がありませんでした。



花見や梅雨の経験をすることもできました。新型コロナウイルスの危険がありましたが、花見のために火の山公園と戦場ヶ原公園に行きました。そこにはたくさん下関市民がいました。誰も心配な姿を見せず、皆が楽しんでいると思いました。

1年間で日本や下関市の生活が好きになりました。理由は、海が近くて潮音が落ち着くと思うからです。その上、人々はいつでも優しく親切だと思います。



## 下関の留学の思い出

氏名：ヤン フィリップ マイヤー (特別聴講学生)  
出身大学：ルートヴィヒスハーフェン経済大学 (ドイツ)  
留学期間：2019年9月～2020年8月

留学の1年間はあっという間に終わってしまいましたが、たくさんの思い出を作りました。最初の数週間はちょっと大変でしたが、チューターと先生と国際交流センターの方々のおかげで直ぐに日本に慣れました。チューターには銀行口座を作る時や下関市の案内や日常生活についてよく助けてもらいました。同じように国際交流センターの方々にお世話になりました。最初の週はセンターの方とあちこちに行って、たくさんの事務処理をして、本当に大変でした。自分だけでは出来ないことだったので、助けに感謝しています。日本に来たばかりで、聞く力がまだ高くなかった外国人には、圧倒的な数の問題があったけど、周りの人に助けてもらったおかげで出来るようになりました。

日本の生活に少し慣れた頃ハンドボール部に入って、新しい知り合いができました。最初は雰囲気少しぎこちなかったけど、何回か練習に参加して、飲み会もあって、直ぐ仲良くなったと思います。部活で大会に行き、誕生日をお祝いしてもらい、そして忘年会も皆と一緒にしました。部活以外にも大学が提供した活動に参加しました。例えば大学祭やお神輿担ぎやWSKサークルのハロウィンパーティー、交通安全の発表に参加したおかげで日本がわかるようになりました。

国際交流会ともだちサークルと大分県の別府に行ったこともあります。そこで有名な温泉に行き初めて温泉に入りました。熱かったけど気持ちよかったです。

そして授業でも色々な人に出会いました。それは先生、同じ留学中の仲間や日本人の同級生です。そこで作った日本人の友達3人でバリ島に旅行へ行きました。2月だったのでとても暑かったけど、予約したビラにはプールが付いていました。そのプールに入ったり、海に行ったり、サーフィンをしたりしました。旅行はとても楽しかったです。

帰って3日後、パトリックさんとまた別の旅行に出発しました。この旅行は国内観光でした。先ず下関市から新幹線で大阪市に行って、ドイツの友達に会って、大阪を見て回りました。次に5人で京都市の色々な神社とお寺にも行きました。友達の一部が京都にこの1年間、留学していたので、たくさんの面白い所を知っていて、美味しいレストランにもつれて行ってくれました。最後に東京にも行きました。あんなに大きな街を見たのは初めてでした。フランクフルトやミュンヘンと比較することもできない大きさです。驚いたけれどもたくさんの楽しいことが出来て、他の同級生に会って、全然怖くありませんでした。

両方の旅行とも新型コロナウイルス感染症が広がり始めたときだったから、皆がちょっと心配しました。結局何もなかったのは嬉しいけど、その後さらに広がりました。そのせいで留学の2学期目にはあまり出かけなくなりました。まだ色んなところに行きたかったので残念でした。しかし、それはただ「私は日本に戻ってくる必要がある」ということです。





## 唯一無二な留学生活

氏名：アルバイ トウンチュ (特別聴講学生)  
出身大学：ボアジチ大学 (トルコ)  
留学期間：2020年4月～2021年2月

日本語を勉強してきたこの何年もの間、日本に行って普通ではできない留学生活を経験したいと思っていました。

それがこんなにも特別になるとは思っていませんでした。3月末に新型コロナウイルス感染拡大の影響によりトルコと日本間の路線定期便が止まる前ぎりぎりに来日できました。その後、対面授業ができなくなり、遠隔授業に変更されましたが、その遠隔授業が始まるまでの1か月間、下関の街を歩く時間が十分ありました。

確かに、来たばかりの頃は、観光のチャンスがありませんでしたが、つまらないとは思いませんでした。先生方やクラスメートたちをはじめ、いろいろな人とオンラインで会って、日本のことをいっぱい勉強しました。これまで日本に留学した先輩たちとは異なる留学生活を送って「かわいそう」だと思われるかもしれませんが、内向的な性格だと自負している自分にとっては、そんなに悪くありません。むしろ、(もちろんコロナ禍の状況が良かったとは言えませんが) 遠隔授業で早く起きなくてもいいとか、留学生寮で一人暮らしとか、先輩たちより楽な留学生活を送ったと思います。

アルバイトのことも運が良かったです。ある英会話教室で日本人の小中高校生に英語を教えるようになり、同時に私も日本語のことをいろいろ習いました。例えば、英語の語順を教えるためにまず「主語・動詞・目的語」の日本語を学ばなければなりません。言語学に興味があるのでとても楽しかったです。

勉強とアルバイトだけでなく、いっぱい遊んだことも日本での思い出です。山口県をはじめ、1か月間の夏休み(季節は秋)には九州と四国を旅行して、いろいろな歴史的な城、庭園、博物館を見学しました。日本海を眺めながら「〇〇のはなし」という電車で萩市へ、瀬戸内海を眺めながら普通列車で岩国市へ、初めてのフェリーで松山市へ、初めての新幹線で鹿児島市へ行きました。

旅行前に日本史で勉強したところを実際に自分の目で見ると、授業の内容がもっとよく理解できました。日本の田舎や自然を体験する良い機会にもなりました。

この唯一無二な留学はとても素晴らしく、楽しい時間になりました。特にこのような時期に安全安心な下関に来られて、本当に良かったです。私と日本の関係はこれで終わらず、これからも日本語を勉強し、仕事でも観光でもいいので、ぜひもう一度来たいです。



# 派遣留学

---

協定校への派遣留学

北京大学 (中国)

青島大学 (中国)

銘傳大学 (台湾)

東義大学校 (韓国)

木浦大学校 (韓国)

釜山外国語大学校 (韓国)

ロス・メダノス・カレッジ (アメリカ)

ディアブロ・バレー・カレッジ (アメリカ)

コントラ・コスタ・カレッジ (アメリカ)

アルゴマ大学 (カナダ)

ボアジチ大学 (トルコ)

ルートヴィヒスハーフェン経済大学 (ドイツ)

クイーンズランド大学 (オーストラリア)

クイーンズランド大学附属英語学校 (オーストラリア)

グリフィス大学 (オーストラリア)

# 北京大学(中国・北京市)

## 概要

北京大学は1898年に創設された中国初めての国立総合大学です。現在は、多様な部門の教育と研究の中心になる新しいタイプの教育機関になっています。その前身は清朝末に設置された京師大学堂で、辛亥革命の翌年である1912年に北京大学と改称し、1952年に現在の敷地に校舎を移しました。以降今日に至るまで中国の最高学府としての地位を内外に誇っています。

北京大学は、社会主義の近代化を追求するために専門的な知識と技術、そしてレベルの高い人材育成と科学の重要なテーマについての研究を連携させています。この連携は教育と研究の向上だけでなく、様々な分野の促進と相互作用を追求しています。

1950年代に外国人留学生の受入れを開始し、中国語教育にも力を入れています。北京大学は、大学や研究機関、ハイテク企業が多く集まり、中国のシリコンバレーとも呼ばれる中関村に位置します。北京の名所の圓明園や映画「西太后」の舞台となった頤和園も周辺にあり、落ち着いた環境の中で学習することができます。



**学生数** 約30,000人

## 学部

### 理学部

数理科学学院、物理学院、化学分子工学院、ライフサイエンス学院、都市環境科学院、地球および宇宙科学院、心理・認知科学院、建築・景観設計学院、情報科学及び工学部、電子工学科コンピューターサイエンス学院、工学院、コンピューター科学技術研究所、環境理工学院、ソフトウェア&マイクロエレクトロニクス学院、国立ソフトウェア工学研究センター\*

### 人文学部

中国語文学院、歴史学院、考古学院、哲学および宗教学院、外国語学院、芸術学院、第二言語として学ぶ中国語学院、歌劇研究協会

### 社会科学部

国際関係学院、法学院、情報管理学院、社会学院、政府管理学院、マルクス主義学院、大学院教育学研究学院、ジャーナリズム・コミュニケーション学院、体育教育学院、ニュースおよびメディア学院

### 経済管理学部

経済学院、光華経営学院、人口研究所、国家発展研究院、

### 医学部

基礎医学院、薬学院、公衆衛生学院、看護学院、医学人文科学研究所/基礎教育学部健康科学センター、継続医学教育学院、付属病院(8病院)

## キャンパス

- 本部キャンパス 北京市海淀区頤和園路5号
- 海淀キャンパス 北京市海淀区学院路38号
- 昌平キャンパス 北京市昌平区十三陵鎮西山口村
- 大興キャンパス 北京市大興工業開發区金苑路24号
- 無錫キャンパス 江蘇省無錫市濱湖区大学城狀元道5号
- 深圳キャンパス 広東省深圳市南山区西麗鎮水路2199号



**Homepage** : <http://english.pku.edu.cn/>

# 青島大学(中国・青島市)

## 沿革

青島大学の歴史を遡ると、二つの源に辿り着きます。

一つは1909年に創立された青島特別高等専門学堂です。歴史の変遷に従い、その医学教育が異色を放ち、青島医学学校、青島医科大学、青島医学専門学校と校名が変わる時期がありました。

もう一つは1924年に創建された私立青島大学です。その後国立青島大学、国立山東大学と呼ばれる時期がありました。1946年、国立青島大学は青島医学専門学校と合併し、医学院を設置しました。1956年、医学院は山東大学から独立し、青島医学院となりました。1958年に山東大学は済南に移り、1985年青島大学は再度創立されました。

1950年に創立された青島紡織技術学校は青島紡織専門学校、山東省紡織工業学校などの時期を経て、1978年に山東紡織工学院と改名されました。

1951年に創立された青島教師研修学院は青島師範学校などの時期を経て、1981年に青島師範専門学校に改名されました。

1993年、その同時の青島大学、青島医学院、山東紡織工学院と青島師範専門学校の四校は合併して、今の青島大学となりました。



**学生数** 約46,000人(内 大学院生9,800人、留学生1,600人)

## 学院

### 理学 工学

材料科学と工程学院、電子情報学院、紡織服装学院、化学化工学院、環境科学と工程学院、機電工程学院、コンピュータサイエンステクノロジー学院、生命科学学院、データ科学とソフトウェア工程学院、数学と統計学院、物理科学学院、応用技術学院、自動化と電気工程学院

### 人文学 社会学

公共外国語教育学院、国際教育学院、法学院、経済学院、観光と地理科学学院、マルクス主義学院、美術学院、商学院、師範学院、教師教育学院、体育学院、文学院、外国語学院、マスメディア学院、音楽学院、哲学と歴史学院、政治と公共管理学院

### 医学

公共衛生学院、看護学院、基礎医学院、口腔医学院、薬学院、附属病院、附属心臓血管病医院

## キャンパス

浮山キャンパス(本部キャンパス)	青島市寧夏路308号
金家嶺キャンパス(イーストキャンパス)	青島市嶗山区科大支路62号
松山キャンパス(ウェストキャンパス)	青島市北区登州路38号

**Homepage** : <http://english.qdu.edu.cn/>



## 銘傳大学(台湾・台北市)

### 概要

銘傳大学の前身は1957年に設立された「銘傳女子商業専科学校」で、台湾で最も歴史ある女子商業専門学校です。1997年に総合大学への昇格が認められ、現在では、修士課程、博士課程を併せ持つ男女共学の総合大学となっています。

2010年にアジア初の米国認証評価(MSCHE, Middle States Commission on Higher Education)取得大学となり、2012年に4月にアメリカのSaginaw Michigan州(サギノーバレー州立大学構内)にも分校を設立しました。

銘傳大学は、「国家、並びに社会の発展を支える、責任感・倫理観・国際的視野・ビジネス感覚を備えた専門人材の育成」を教育の目標としています。創設者は台湾の経済発展にはビジネス人材が欠かせず、若い世代の教育が非常に重要になるという信念のもとに開学し、現学長も、創設者のこうした理念を受け継ぎ、「知識経済」時代と言われる今日に求められる優秀な人材の育成に力を注いでいます。現在までに11万人を超える卒業生を輩出しています。

**学生数** 約20,000人(内 大学院生 約1700人、留学生 約2100人)

### 学部

学部は、管理、マスコミ、デザイン、情報、観光、教育応用語文、健康、社会科学、法律、国際の10学部です。キャンパスは、台湾の台北・桃園・金門・馬祖、そして米国のSaginaw Michigan州の5カ所にあり、学習支援を目的に、付属図書館・情報ネットワークセンター・総合教育センター・英語語学センター・中国語学文化センター・生涯教育センター・進路相談室・カウンセリング室・出版センター・教員育成センター・R&Dセンターなどが設立されています。

また、金融リサーチセンター・メディアリサーチセンター・中国情勢リサーチセンター・SMEインキュベーションセンターの4つの研究部門も併せもっています。

1990年に「応用日語組」がつくられ、1996年に応用日本語学科が設立されました。修士課程もあります。日本人教員を含む常勤教員が充実しています。『銘傳日本語教育』という研究誌も刊行し、日本語教育に関するシンポジウムも毎年行っています。

### キャンパス

Taipei Campus	250 Zhong Shan N. Rd., Sec. 5, Taipei
Taoyuan Campus	5 De Ming Rd., Gui Shan District, Taoyuan City
Jihe Campus	3F-8F, No.130, Jihe Rd., Shihlin District, Taipei City
Kinmen Campus	105 De Ming Rd., Jinsha Township, Kinmen County
Michigan Location	Gilbertson Hall, Saginaw Valley State University, 7400 Bay Road, Saginaw, MI

**Homepage** : <http://www.mcu.edu.tw/>





## 自分を模索する留学体験

所 属：経済学科  
氏 名：大槻 祐也

台湾へ留学してどの経験も楽しかったと言うことはできないと思っています。それは中国語の能力が留学に値するまでに至っていなかったということが大きいと考えています。大学入学時から中国語学習を開始、1年半で留学というのは当初から難しいと予想はしていたのですが、それは現地へ行ってみた後に痛感しました。

留学は大学生の内に経験しておきたいと入学を決めた時から考えていました。それが台湾へ留学した一番の理由でした。海外での長期滞在をととても魅力的に感じ、留学をすると決めた1年の秋から中国語の学習に力を入れていました。2年生になり、本格的に台湾入国への準備が始まりました。健康診断、ビザ申請に向けての抗体検査、申請申込など初めての手続きを何度も失敗し、無駄なお金をかけてしまったことは今ではとてもいい勉強になったと考えています。

2019年9月から台湾での生活が始まりました。モンゴル人2人がルームメイトとなり英語での会話が上達すると期待に胸を弾ませたのを覚えています。留学生に向けての様々なおもてなしイベントなど、日本語学科の先輩が私たちに手厚いサポートをしてくれたことは本当に感謝しています。しかし、自分の力だけで生活ができるという自らに感じていた甘い期待と、実際は何もできずにただお世話されているという無力さに憤りを感じていたのは紛れもない事実です。

銘傳大学では国際学科に所属をしたため英語での授業が多かったです。それは留学前から知っていたのですが、あまりにも英語の勉強に時間を費やしてしまっていました。自分のやりたいこと、つまり、中国語の勉強がうまくできていないのではと考えるようになりました。それに気づいたのは遅いのですが1 Semester 終えた後です。このような考えをするようになった私は、自分がやりたいことを選択し、実行するようにしました。その一例として、台湾の友達と一緒に生活をする中で中国語を上達させるという留学前に思い描いていた理想を離れ、図書館で中国語のテキストを見つけ座学へ力を入れたことです。実際日本でも取り組めることにシフトしたかもしれませんが、これが現地で生活し経験した中で自分の中国語の能力を上げる一番の近道だと考えたためこの方法を選択しました。

留学で一番の勉強になった経験は一人旅です。宿は共有スペースがあるところを探しました。初めて顔を合わせた人とたくさん会話したいと思い、情報収集をし、予約からチェックアウトまですべて自分で行いました。旅の途中に具合が悪くなり病院へ行ったことや様々な国の人と交流し連絡先を交換でき今でも繋がっていることを振り返り、本当に良い経験となっています。

自らの能力があまりにも環境に見合わないという中でスタートした留學生活が「どんな方法を取捨選択するのか、何が一番やりたいのか」という問いへと導き、そこから模索し続けた留学体験はとても有意義になったと考えています。



# 帰国後アンケート

※新型コロナウイルス感染拡大のため  
留学期間を短縮しました。

派遣先大学	銘傳大学		留学許可期間	2019年9月1日～2020年8月31日
国名	台湾		留学期間	2019年9月9日～2020年4月5日
必要な語学レベル	中国語検定 4級 または HSK 3級		(履修期間)	2019年9月9日～2020年3月31日
経費	受入れ大学申請料	無し	ビザ申請料	6,900円
	海外旅行保険代金	75,620円(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	宿舎：10,000円/月、 家：20,000円/月	入居申請料	宿舎：2,000円/月、 家：2,000円/月
	食費	35,000円/月	水道光熱費	宿舎：1,600円/月、 家：1,800円/月
	通学費	無し	その他 ( )	
	携帯電話代金	2,000円/月	インターネット代金	携帯電話に込み
	履修登録料	無し	授業を受けるために 必要なその他の費用	無し
	セメスター1授業料	0円/期	セメスター2授業料	0円/期
	教科書代	20,000円/期	教科書代	無し
	小遣い	100,000円	その他 ( )	
滞在先	滞在先名	9月～1月初旬：徳明宿舎、1月初旬～最終日：家		
	滞在方法			
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について 他国の留学生と同居
	部屋に備え付けのもの	シャワー、机、ベッド、冷蔵庫		
	持参した方がよいもの	長袖のシャツ		
	食事のスタイル	朝食	外食	昼食
	夕食	外食	週末の食事	外食、コンビニ
通学	自宅から大学 までの距離	2Km	通学手段	徒歩
	通学所要時間	10分	その他の場合に記入	台北までは地下鉄
履修	セメスター1で 履修した科目	社会学、日本地理、中国語、比較政治学、国際政治学		
	セメスター2で 履修した科目	無し		
	平均授業時間	130分	その他 ( )	
課外活動	サークル等	合唱	活動経費	無し
	活動内容	12月の大会に参加		
留学して 良かったこと	日本では体験できない生活ができた。いろんな国の人と英語、中国語を使って交流できたことが良かった。			
留学したことで 不利益になったこと	無し			
留学を考えている 人へのメッセージ	留学がすべて良かったと思えるのか、悪かったと思えるかはそれぞれの考えようだと思います。総括して私はあまり留学は楽しくなかったですが、それが不利益だと思ったことは一度もないので、要は考えようだと思います。			





# 夢を実現させることが できた留学生活

所 属：国際商学科  
氏 名：川野 七海

銘傳大学に7か月間留学をしました。以前から海外の文化などに興味があり、大学に入学後、留学生と沢山交流するようになりました。彼らのことを知っていくうちに彼らが日本語を流暢に話すように自分も外国語を話せるようになりたいと強く思うようになりました。そして中国語を勉強し始め、大学1年の時に台湾で行われた2週間の外国研修に参加した後、現地での文化を学ぶとともに更に語学力を高めたいと考えた私は、台湾での長期留学をすることに決めました。

本学の留学生とは日本語で交流することが可能でしたが、留学先では適いません。実際に留學生生活が始まり、慣れないことも多く全てが新鮮なものに感じると同時に、自分が話す中国語が現地の人に伝わらないことも多く、かなり自信を失った時もありました。しかし、そんな時こそ粘り強く自分の言葉で伝えようとする努力は、今では何でも自分から積極的に行動しようという自信に繋げることができたと思います。

銘傳大学では、ほとんどの授業でグループや個人でプレゼンテーションをする時間があり、その準備をするのに忙しく大変な時期もありました。同じグループの台湾人や外国人が私の拙い中国語と英語を必死に理解してくれようとする姿勢に感動し、自分ももっと頑張らないといけないと強く感じる事がモチベーションになりました。

留學生生活を振り返ると語学力を高めることができたのは勿論、台湾だけでなく他国から来た外国人の文化や習慣も身をもって体験し、自らの価値観を広げることができたと思います。日本にいただけでは味わえない、はじめは不思議でしかないその国ならではの習慣や外国人のノリにもだんだんと慣れていき、何年も住んでいるかのように溶け込んで楽しく過ごすことができました。今まで全く環境の異なる場所で生活してきた人と留学先で偶然にも出会い、互いの文化に触れながら一緒に生活したことは、なかなか体験できない一生心に残る思い出です。

留学について少しでも興味があるなら、ぜひ下関市立大学に在る間に挑戦してほしいです。はじめは誰もが不安を感じながら生活すると思いますが、そこで様々な人と運命的に出会い、かけがえのない貴重な経験を積み重ねることで徐々に充実した生活が送れていることを実感すると思います。また、留学期間は長いようであつという間に過ぎ去っていくので、少しでも興味があるものには積極的に行動して体験していくことも大切です。

今回の留学で学んだことを今後の糧にして更に幅広くチャレンジしていきたいです。そして、国際交流センターの方や家族、下関市立大で出会った外国人留學生が自分の留学をサポートしてくれたからこそ、こうして在学中に成し遂げたかったこともたくさん経験できたと思います。ありがとうございました。



# 帰国後アンケート

※新型コロナウイルス感染拡大のため  
留学期間を短縮しました。

派遣先大学	銘傳大学		留学許可期間	2019年9月1日～2020年8月31日
国名	台湾		留学期間	2019年9月1日～2020年4月5日
必要な語学レベル	中国語検定 4級 または HSK 3級		(履修期間)	2019年9月9日～2020年3月31日
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	6,900円
	海外旅行保険代金	75,620円(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	宿舎: 10,000円/月 家: 16,000円/月	入居申請料	0円/年
	食費	30,000円/月	水道光熱費	宿舎: 2,000円/月 家: 2,400円/月
	通学費	0円/月	その他 ( )	
	携帯電話代金	2,400円/月	インターネット代金	携帯電話に込み
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために 必要なその他の費用	0円/期
	セメスター1授業料	0円/期	セメスター2授業料	0円/期
	教科書代	15,000円/期	教科書代	0円/期
	小遣い	20,000円/月	その他 ( )	
滞在先	滞在先名	9月～12月: 徳明宿舎/1月～3月: アパート		
	滞在方法	寮/アパート		
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について 日本人と同居
	部屋に備え付けのもの	シャワー、トイレ、洗面台、冷蔵庫、勉強机、冷房		
	持参した方がよいもの	たこ足		
	食事のスタイル	朝食	外食	昼食
	夕食	外食	週末の食事	外食
通学	自宅から大学 までの距離	2Km	通学手段	徒歩
	通学所要時間	15分	その他の場合に記入	
履修	セメスター1で 履修した科目	認識日本、政治学、華語教学、韓国語、国際会話・慣習、社会学、貿易英語		
	セメスター2で 履修した科目			
	平均授業時間	50分×2または50分×3	その他 ( )	
課外活動	サークル等	なし	活動経費	なし
	活動内容	なし		
留学して 良かったこと	外国語を使って外国人とコミュニケーションをし、色々な国の友達ができただこと。実際に外国語を使って人と話すことで自分の語学力のレベルを認識でき、その後のモチベーションにも繋げることができたこと。			
留学したことで 不利益になったこと	単位があまり取れないこと。			
留学を考えている 人へのメッセージ	留学の初めは、自分の語学力に全く自信が持てず会話をするにとっても苦労しました。実際に現地で生活する前のある程度会話できるぐらいの語学力をつけておくことが大切だと思いました。しかし最終的には、かけがえのない外国人の友達もできて本当に楽しい留学生活を送ることができたので、少しでも留学をしたいと考えている人には是非挑戦してみてください。			





## 銘傳大学での留学を終えて

所 属：国際商学科  
氏 名：前山 郁那

約7か月間台湾の銘傳大学に留学しました。元々漠然といつか留学してみたいなという思いはありました。大学に入学後、第一外国語に中国語を選び、そこから興味が深まり、日本ではできない体験をしたいと留学を決めました。中国語の勉強になぜ台湾留学を選んだのかという質問をよくされるのですが、それは一度台湾を訪れた際に感じた印象が本当に良かったからです。

銘傳大学にはキャンパスが複数あり、主に桃園と台北に分かれています。私は国際学院の外交学科に所属し、基本的に桃園キャンパスで授業を受けていました。交換留学生は学科など関係なく大学のすべての学科・学年の授業を自由に履修することができたので、単位互換を考えて経済系の科目や教養科目などをメインに履修しました。実際に現地の学生が履修している授業を受講するため、現地の学生と交流する機会が多く、友達もできました。また語学センターで中国語の授業も有料で履修しました。語学センターの授業は台北のキャンパスで行われていたので週に2日スクールバスで約1時間かけて桃園から台北まで通いました。有料授業はレベルに合わせて少人数で開講されるので中国語を話す機会も多くとても良かったです。授業はプレゼンテーションが多いなど行動力や積極性を問われ、日本の大学と違うこともあり最初は戸惑いましたが、良い経験になりました。また日本語学科の学生が時間を見つけて中国語を教えてくれたり、ボランティアの学生もマンツーマンで教えてくれました。

台湾の中国語は少し訛りがあり、日本で学ぶ標準語とは発音が少し違っていたり、繁体字を使用したり、中国大陸では使わない言葉があったり、話すスピードが少し速かったりと戸惑う点もいくつかありました。しかし基本的な文法などは同じで時間が経つと慣れました。語学センターでは簡体字を使用し標準語と台湾中国語の違いなども一緒に教えてもらえます。その違いを学習するのも楽しかったです。ただ一つ後悔したことは、もう少し英語を勉強していればよかったなということです。台湾では中国語を使えれば良いと思っていましたが、実際は授業や他の国の留学生と交流する際に英語が必要で、逃したチャンスも多かった気がしました。

留学生生活を振り返ると、台湾で出会った人々は本当に優しく親切で、いつでも助けてくれました。そのおかげで、大変なこともありましたが、つらいと感じたことほとんどなく、本当に楽しい時間でした。また語学だけでなく台湾文化や習慣、生活様式など日本にはない貴重な体験をできたこと、たくさんの人々に出会えたことなど、この留学で得られた物はこれからの自分の人生における最高の財産になりました。成長できた部分も多かった気がします。これから留学で経験したことを活かし頑張っていきたいと思います。最後に留学に向けてサポートしてくれた方々、留学中に会った全ての人々に感謝しています。本当にありがとうございました。



# 帰国後アンケート

※新型コロナウイルス感染拡大のため  
留学期間を短縮しました。

派遣先大学	銘伝大学		留学許可期間	2019年9月1日～2020年8月31日
国名	台湾		留学期間	2019年9月4日～2020年4月5日
必要な語学レベル	HSK 3級		(履修期間)	2019年9月9日～2020年3月31日
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	10,400円
	海外旅行保険代金	83,410円(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	10,000円/月	入居申請料	0円/年
	食費	20,000円/月	水道光熱費	2,500円/月
	通学費	0円/月	(その他)	水道費は寮費に含まれる
	携帯電話代金	1,800円/月	インターネット代金	寮費に含まれる
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	有料の中国語の授業を受けるのであれば1 Semester 50,000円
	Semester 1授業料	0円/期	Semester 2授業料	0円/期
	教科書代	5,000円/期	教科書代	8,000円/期
	小遣い	30,000円/月	(その他)	
滞在先	滞在先名	徳明宿舍		
	滞在方法	寮		
	滞在先の状況	同居者 有 同居者について 日本人と同居		
	部屋に備え付けのもの	ベッド、机、椅子、シャワールーム、トイレ、冷蔵庫		
	持参した方がよいもの			
	食事のスタイル	朝食 夕食	外食 外食	昼食 週末の食事
通学	自宅から大学までの距離	1Km	通学手段	徒歩
	通学所要時間	13分	その他の場合に記入	
履修	Semester 1で履修した科目	日本地理、国際関係概論、比較政府と政治、英語ライティング、英語会話、貿易英文、対日華語教学		17単位
	Semester 2で履修した科目	異文化交流、日本経済、国際貿易実務、芸術概論、観光英語、対日華語教学、中級華語、国際談判(新型コロナウイルスの影響で帰国となったので履修予定だった科目)		18単位
	平均授業時間	50分/授業	(その他)	基本50分×3コマもしくは50分×2コマ、休み時間が間に10分
課外活動	サークル等	なし	活動経費	なし
	活動内容			
留学して良かったこと	友達や知り合いがたくさんできたこと。また日本と違う文化や授業スタイルを体感できたこと。中国語を話す機会が多かったこと。			
留学したことで不利益になったこと	単位数が少ないこと。			
留学を考えている人へのメッセージ	私は留学してとても良かったと思います。もちろん大変なことはありましたが、いろんなことを学ぶことができ、とても貴重な経験になりました。もし迷ってるのであれば、ぜひ留学することをお勧めしたいです。			



## 東義大学校 (韓国・釜山広域市)

### 概要

東義大学校は、釜山に15大学ある4年制大学のうちで、2番目に規模が大きく、美しいキャンパスを持ち、21世紀にふさわしい学生中心の教育環境と革新的な教育改革プログラムを提供しています。

東義大学校は1977年慶東工業専門学校を前身として設立されました。1979年東義大学に改編され、持続的な成長と発展を重ね、開校5年目の1983年に4年制の総合大学に昇格し、1989年韓医科大学が設立されて仁術を通じた社会奉仕の大きな役割を果たしている。現在9つの学部、6つの大学院、14の付属機関、40の研究施設、産学協力団傘下の16の付属機関と漢方医科大学附属韓方病院及び田浦総合社会福祉館、東義保育所があります。

また、スポーツの名門校でもあり、野球部、サッカー部の全国大会優勝をはじめ、フェンシング部はアジア大会においてメダルを獲得するなど、優秀な選手の育成にも努めています。さらに、映像大学ではイタリアの国際短編映画祭で特別賞を受賞するなど、様々な専門分野において優秀な総合大学です。



**学生数** 約22,000人(内 大学院生 約600人、留学生 約300人)

### 学部 9学部78学科

Humanities and Social Sciences (人文社会科学学部)

Business & Economics (商経学部)

Natural Sciences (自然科学部)

Nursing, Healthcare Sciences and Human Ecology (医療保健生活学部)

Korean Medicine (東洋医学部)

IT Convergence College of Components and Materials Engineering  
(IT融合部品素材工学部)

Engineering (工学部)

ICT (Information and Communication, Technologies) Engineering  
(ICT[情報通信、テクノロジー]工学部)

Art, Design and Sport Science (芸術デザイン体育学部)

### キャンパス

伽倻キャンパス 釜山広域市釜山鎮区巖光路176

楊亭キャンパス 釜山広域市釜山鎮区楊亭路52-57

**Homepage** : <https://eng.deu.ac.kr/eng>





## 留学体験記

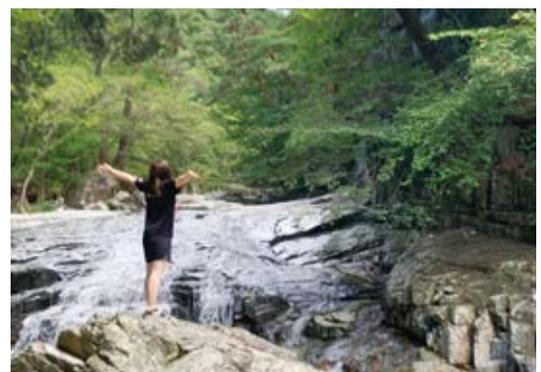
所 属：国際商学科  
氏 名：村田 はるか

約10ヶ月間、釜山にある東義大学校に留学しました。留学が大学での目標の1つでもあったので、留学前までは不安よりこれからの新しい生活に対する期待の方が大きかったと思います。

前期の授業は、毎日語学堂に通いました。語学堂にはいろんな国から来た留学生がいて、はじめて教室に入った時はすごく不思議な気持ちでした。私のクラスはベトナム人が大半で、中国、台湾から来た留学生も何人かいました。授業はすべて韓国語で進められていくので、午前中だけの授業でしたが、毎日ついていくのに必死で頭が疲れ、早く寝ていました。でも、だんだん授業の内容が聞き取れるようになってくると自分にも少し余裕ができるようになりました。会話の授業の時に話す内容が増え、休み時間にもいろんな話をするようになりました。私たちのクラスはとても仲の良いクラスでお互いの国の言葉を習ったり、修了式の日はみんなでご飯に行ったりといい思い出でいっぱいです。後期の授業は、主に、単位互換のことを考え履修をしました。専門科目の授業はとても難しく、専門用語はもちろん、授業の進度も現地の学生に合わせて進んでいくので、とても大変でした。しかし、先生や現地の学生にたくさん支えられて課題や発表、テストをやり遂げることができました。また、後期に履修した授業はすべて発表課題がありました。日本でもパワポを使って発表したことはありましたが、現地の学生の発表の仕方や内容、質疑応答は全てレベルが高く、驚いたと共に、プレゼンに対する姿勢を学び、能力を伸ばすことができました。

授業以外にも、留学生を対象にしたプログラムにたくさん参加しました。釜山は観光地も多く交通機関も充実しているので、釜山だけでなく釜山の近くの慶州での文化体験もありました。観光地に行ったり、ドラマの撮影地に行ったり、韓国伝統の餅作りなどの文化体験をして、同じ留学生や韓国人のチューターと会話したりととても楽しかったです。

最後に、約10ヶ月の留学生活を通して本当にたくさんの経験ができました。これもすべて人との出会いがあったからだと思います。国際交流チームの先生、大学の教授、韓国人の友達、チューターの方々、留学生の友達、留学中に会った日本人の友達まで、私の人生の中で一番多くの人に出会い、たくさんのことを学んだ10ヶ月だったと思います。特に、留学生の友達とは共通語が韓国語なので、お互い言いたいことが言えない時やコミュニケーションが難しい時もありました。その度にもっと韓国語の勉強を頑張らないといけないと思い、お互いにまた会う日まで韓国語の勉強を頑張る約束をしました。留学中に辛いと思ったことも無く、あっという間の留学生活でした。韓国での留学を何も言わず見守ってくれた家族と国際交流センターの方には感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、留学で得た知識や経験を自分の強みにして進路を決めていこうと思いました。



# 帰国後アンケート

派遣先大学	東義大学校		留学許可期間	2019年3月1日～2020年2月29日
国名	韓国		留学期間	2019年2月26日～2019年12月24日
必要な語学レベル	TOPIK 4級		(履修期間)	2019年3月4日～2019年12月20日
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	0円
	海外旅行保険代金	80,000円(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	90,000/セメスター	入居申請料	0円/年
	食費	3,000円/月	水道光熱費	0円/月
	通学費	0円/月	その他 ( )	
	携帯電話代金	3,600円/月(sim代)	インターネット代金	0円/月
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	0円/期
	セメスター1授業料	0円/期	セメスター2授業料	0円/期
	教科書代	12,000円/期	教科書代	5,000円/期
	小遣い	70,000円/月	その他 ( )	
滞在先	滞在先名	東義大学校 第1ヒョミン生活館		
	滞在方法	寮		
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について 日本人と同居
	部屋に備え付けのもの	机、ベット、クローゼット		
	持参した方がよいもの	変換プラグ		
	食事のスタイル	朝食 付き	昼食 付き	夕食 付き
通学	自宅から大学までの距離	大学校敷地内	通学手段	バス
	通学所要時間	5分	その他の場合に記入	
履修	セメスター1で履修した科目	語学堂、日本文化、多文化理解		
	セメスター2で履修した科目	国際運送論、国際マーケティング、グローバル金融論、日本語会話		
	平均授業時間	50分/授業	その他 ( )	
課外活動	サークル等		活動経費	
	活動内容			
留学して良かったこと	韓国人だけでなく、色々な国から来た留学生とも仲良くなれること。			
留学したことで不利益になったこと	特になし			
留学を考えている人へのメッセージ	小さなことでもいいので目標を持って留学生活を送ることが大事だと思います。			





## 東義大学校での留学体験

所 属：国際商学科  
氏 名：伊藤 さゆき

1年間交換留学生として韓国の釜山にある東義大学校へ行きました。高校生の時から韓国に興味があったのでソウルに研修へ行き、また高校3年生の夏には個人的に2カ月間留学をした経験から、大学に入ったら必ず留学をしたいと思っていました。選ばれた時はとても嬉しかったことを覚えています。

高校生の時の留学は日本人が1人もいない語学堂に通っていました。そのため言葉も通じない中、寂しい思いをしました。しかし今回は先輩方と一緒に大学のサポートのもと、とても安心した環境の中で留学をしました。

外国人の中に一人ぼっちでいる環境と日本人がたくさんいる環境、両方を経験してみて、語学力は日本人がいない方がもちろん上がります。だから日本人がいる環境はマイナスなことだと行く前は考えていたので、日本人とは関わらずに韓国人だけと仲良くして語学力を絶対にあげようと考えていました。ですがルームメイトが福岡大学の先輩で日本人と関わらざるを得ない状況でした。はじめはその環境が満足いくものではなく、生活をしていく中で必ず日本語を使ってしまい、自分のことは自分でやらないといけないと言う危機感も少なかったような気がします。1年間を経て、留学は語学力だけを上げるものではないと分りました。ルームメイトや先輩方がいたからこそ楽しく安心して韓国語を学べたと思います。もし言葉が通じず不安な思いをもっとしていたら、それもまた経験になったと思いますが、こんなに楽しかったと胸を張って帰ってこられる留学にはならなかったと思います。

留学時、日韓の政治で問題が起きてあまり国家間の関係は良いといえませんでした。ですが韓国においてそれを感じることは、ほとんどありませんでした。私の周りには嫌な顔1つせず「日本のあれがおいしい、あそこに行きたい」など日本のことを良く言ってくれる人たちでした。たまに日本人が居ると分かっているのに「日本人、本当に嫌いだ」などと言っている人を見たとありますが、だからといって韓国が嫌いにはなりません。お互いがお互いに良いところを見つけあって歩み寄っていくことが大切だと勉強になりました。

韓国人だけではなく中国人ベトナム人などいろんな国の人たちと一緒に生活をしていく中でやはり私は日本人で良かったなと気づく場面も多かったです。日本に住んでいたら絶対に気づくことのできない自国の良さも知りました。日本に帰ってきた今、普通に暮らすことが当たり前だと思わず親や友人に感謝してこれからも韓国語のレベルアップを目指して勉強していきます。



# 帰国後アンケート

派遣先大学	東義大学校		留学許可期間	2019年3月1日～2020年2月29日
国名	韓国		留学期間	2019年2月28日～2019年12月20日
必要な語学レベル	TOPIK 3級		(履修期間)	2019年3月4日～2019年12月20日
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	0円
	海外旅行保険代金	90,000円(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	60,000円/ Semester	入居申請料	0円/年
	食費	30,000円/ Semester	水道光熱費	0円/月
	通学費	0円/月	その他 ( )	水道光熱費は寮費に含まれる
	携帯電話代金	3,630円/月	インターネット代金	寮費に含まれる
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	
	Semester 1授業料	0円/期	Semester 2授業料	0円/期
	教科書代	10,000円/期	教科書代	6,000円/期
	小遣い	30,000円/月	その他 ( )	
滞在先	滞在先名	ヒョミン生活館		
	滞在方法	寮		
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について 日本人と同居
	部屋に備え付けのもの	Wi-Fi、クローゼット、机、収納スペース		
	持参した方がよいもの	鏡、日本食、薬		
	食事のスタイル	朝食 付き	昼食	夕食 付き
通学	自宅から大学までの距離	校内	通学手段	バス
	通学所要時間	5分	その他の場合に記入	
履修	Semester 1で履修した科目	語学堂、日本文化の理解、多文化理解		4単位
	Semester 2で履修した科目	国際マーケティング、国際運送論、日本語会話、国際マナーとエチケット		15単位
	平均授業時間	90分/授業	その他 ( )	
課外活動	サークル等		活動経費	
	活動内容			
留学して良かったこと	語学を学べることはもちろん、日本ではわからない他国の文化を体験できる。			
留学したことで不利益になったこと	特になし			
留学を考えている人へのメッセージ	いい事ばかりではないけど嫌なことも自分の財産になります。			



## 木浦大学校 (韓国・務案郡)

### 概要

木浦大学校 (The Mokpo National University) は、朝鮮半島南西部の重要都市である木浦市に位置しており、キャンパスは韓国で神聖視されている山の一つである僧達山 (Seungdal-Mountain) のふもとにあります。

木浦大学校の第一の教育目標は、個々が選んだ研究分野における学術的理論や方法論を教えることで、才能ある学生を育成し国家および人類全体の繁栄に寄与することです。また、全羅南道における重要な高等教育機関としての役割を果たすため、アジア太平洋地域をはじめとした世界各地の大学との国際交流ならびに交流協定を推進し、木浦大学校を競争力のある国際的な大学にするよう意欲的に取り組んでいます。さらに木浦大学校は、理論と実践を兼ね備えた地域基盤の国際的な才能を養育・生み出すことで、地域発展につながるよう目指しています。

木浦大学校の教育哲学、教育理念である「創造・高潔・奉仕」に従って、地域社会を率いる力強いリーダーシップを持った人材を育てることにまい進しています。



### 沿革

- 1946年 木浦師範学校設立
- 1963年12月 木浦教育大学に改編
- 1978年 3月 木浦初級大学になる
- 1979年 3月 4年制の国立木浦大学になる
- 1990年 3月 総合大学に昇格し、木浦大学校となる



**学生数** 約13,000人 (学部生 約11,600人、大学院生 約1,400人)

### 学部 9学部

- Humanities (人文学部)
- Social sciences (社会科学学部)
- Natural sciences (自然科学学部)
- Engineering (工学部)
- Business Administration (経営学部)
- Human Ecology, Arts and Physical Education (生活科学芸術体育学部)
- Education (教育学部)
- Pharmacy (薬学部)
- Liberal Education (教養教育学部)



### キャンパス

- 木浦キャンパス 全羅南道木浦市南農路41番キル11
- 南岳キャンパス 全羅南道務安郡三郷邑南岳里2540
- 道林キャンパス 全羅南道務安郡清溪面榮山路1666

**Homepage** : <http://eng.mokpo.ac.kr/index.9is>





## 留学で得られたもの

所属：経済学科  
氏名：山田 碧依

3月から12月までの約10ヶ月間韓国の木浦大学校へ留学しました。いろんな体験することができ、一生の思い出に残るものになりました。この期間を通じてたくさん得られたものがあります。これらは私の大切な財産となりました。

まず、この期間で圧倒的に成長したのは語学力です。コミュニケーションはすべて韓国語で行わなければならない、語学力が不足していたため韓国に行ったばかりのころはものすごく大変でした。友達と話す時でも相手の言葉が理解できないことがとても悔しく、それと同時に申し訳なさを感じました。そんな思いから最初の2ヶ月間、毎日韓国語の勉強をしました。今では友達や先生との会話に支障のないくらいの語学力を手に入れました。言語を勉強するうえで一番早く上達するのはやはり直接話すことだなと思いました。留学した学科には日本人が私しかおらず韓国語を喋らざるを得ない環境だったことも私の語学力が短期間で上達した要因だと思います。

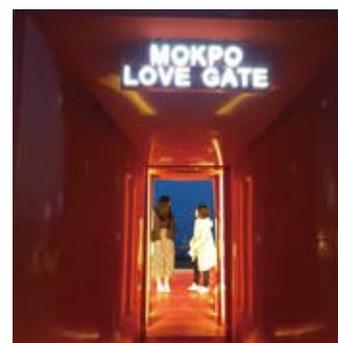
次に韓国経済についてたくさんの知識を得られたことです。韓国経済に興味があり、実際行って自分の目で見て学びたいと思い韓国留学を決めました。経済学科に留学しさまざまな授業を受講することで多くの知識を得ることができました。授業では企業訪問や視察をしたりして留学でなければできない貴重な体験をすることができました。

最後に、助けてくれるたくさんの友達ができることです。先ほども記したように留学した学科は日本人が私しかおらず、それに加えその学科に日本人が留学に来ること自体が珍しかったようです。そのため一度挨拶するだけで覚えてくれ、私の名前が覚え易いということもあり、学校ですれ違うたびに声をかけてくれる友達も多かったです。また、積極的に学科の集まりに行くようにし、飲食を共にして日本や韓国について多くの話をしました。ここで仲良くなった先輩や友達は、学校生活や学校以外でも大いに助けてくれました。授業中わからないことや課題について、学校周辺のお店についてどのお店がいいかなど、色々な情報を教えてくれました。テストの際には「ここを勉強したほうがいい」とか「こういう風にテストに出る」など、親切に詳しく教えてもらい、良い仲間に出会えたなと思いました。留学を終えて木浦を出るときも、私のために学科の先輩や友達が集まってお別れ会を開いてくれました。サプライズパーティーだったのでとても感動しました。私のために時間を割いてくれる友達に会えたことが一番の思い出です。



# 帰国後アンケート

派遣先大学	木浦大学校		留学許可期間	2019年3月1日～2020年2月29日
国名	韓国		留学期間	2019年2月28日～2019年12月27日
必要な語学レベル	TOPIK 3級		(履修期間)	2019年3月4日～2019年12月18日
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	0円
	海外旅行保険代金	75,840円(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	220,000円/ Semester	入居申請料	0円/年
	食費	20,000円/月	水道光熱費	寮費に含まれる
	通学費	0円/月	その他 ( )	
	携帯電話代金	4,000円/月	インターネット代金	寮費に含まれる
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	0円/期
	Semester 1授業料	0円/期	Semester 2授業料	0円/期
	教科書代	15,000円/期	教科書代	15,000円/期
	小遣い	20,000円/月	その他 ( )	
滞在先	滞在先名	BTL		
	滞在方法	寮		
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について 現地学生と同居
	部屋に備え付けのもの	ベット、マットレス、机、椅子、棚、電気スタンド		
	持参した方がよいもの	洗濯ネット、変換プラグ		
	食事のスタイル	朝食	付き	昼食
	夕食	付き	週末の食事	付き
通学	自宅から大学までの距離	0.5Km	通学手段	徒歩
	通学所要時間	5～10分	その他の場合に記入	
履修	Semester 1で履修した科目	経済学原論、経営学原論、韓日大衆文化の理解、労働経済学、経済史、国際経営戦略論		
	Semester 2で履修した科目	公共経済学、社会的経済論、貨幣金融論、国際金融経済論、韓国経済史、産業組織論		
	平均授業時間	90分または180分/授業	その他 ( )	
課外活動	サークル等	なし	活動経費	
	活動内容			
留学して良かったこと	語学力が短期間で上達する。現地の友達がたくさんできる。			
留学したことで不利益になったこと	日本で普通に履修するよりも単位が取れないので4年生になっても授業を取らないといけない。			
留学を考えている人へのメッセージ	迷っているなら絶対に行くべきです。1年間で日本では体験できない貴重な体験ができるはずです。			





# 釜山外国語大学校

(韓国・釜山広域市)

## 概要

キリスト教精神に基づき設立された私立外国語大学で、語学教育を基盤とした多言語・多文化教育や、語学とIT又はビジネス関連技能を融合させるカリキュラムで、国際社会で活躍するグローバル人材の育成を目指している。また、日本語専攻者数が韓国内で最も多い大学で、日本人教員数も最も多く、日本との交流に積極的である。

**学生数** 約9,600人(内 韓国人学生 約8,900人、外国人留学生 約700人)

## 沿革

- 1950年12月 財団法人盛昌学院設立
- 1981年11月 学校法人盛智学院に変更
- 1981年12月 釜山外国語大学設立
- 1982年 3月 釜山外国語大学開校
- 2014年 2月 南山キャンパスに移転



## 学部

- 英日中
- グローバル人文融合
- グローバルビジネス
- グローバル創意融合
- グローバルIT

## キャンパス

65, Geumsaem-ro 485beon-gil, Geumjeong0gu, Busan, Korea

**Homepage** : <http://www.bufs.ac.kr/>





## 留学を通して学んだもの

所 属：国際商学科  
氏 名：加悦 優莉

2019年度から新たに交換留学が始まった釜山外国語大学校に10か月間留学しました。もともと韓国語以外の外国語にも関心があったことと、方言を使う釜山で一味違う韓国語を学びたいという思いからこの大学を志願しました。出発の2月末には日本でも韓国でも新型コロナウイルス感染症が流行していたので中止や途中帰国などの不安もありましたが、なんとか渡航制限前に入国し、無事に留学生活を始められました。

新型コロナウイルス感染症の影響で授業はオンラインで行われました。専用のアプリを使って配信される授業を見て課題を提出する形式のものや、ZOOM上で行うものがありました。はじめは学校に行きたくてオンライン授業に対する不満やストレスがありました。先生もメールでの問い合わせに早く丁寧に答えてくださいましたし、時間の融通が利くため私自身も卒業論文や就活準備をしながら授業を受けられたので、慣れてきてからはオンライン授業でよかったと思うようになりました。また、教室で顔を合わせる機会がないので友達もできないのではないかと心配していましたが杞憂でした。オンライン授業の中で同じグループになった友達と遊びに行ったり、サークルに入って活動したりしているうちに自然と友達はできました。

この時できた友達と過ごす中で3つのことを学びました。一つ目は、韓国語での表現方法です。コミュニケーションを図る時には自分の意見をはっきりと言語化しなければなりません。私は曖昧な言葉を使わず素直に自分の考えを伝えることを意識しました。はじめは自分が外国語を使っている身分なので相手も多少理解してくれるだろうと知っている単語だけを使っていましたが、それでは本当に伝えたいことが伝わらないと思い、辞書を使って自分の伝えたい細かいニュアンスが伝わる単語を選んで使うようにしました。二つ目は、国籍や人種は関係なくその人自身を見るということです。母国語が違いため相手の言葉に対して違和感を持つこともあります。違和感をそのままにせず納得するまで別の言葉で言いかえてもらったり確認したりしました。「〇〇人だから」という先入観も捨てて、目の前の人が何を言いたいのかよく見て聞くことも意識しました。三つ目は、支えてくれる家族や先生や友達に感謝しながら、自分の頑張りを認めるということです。この留学はたくさんの方の協力があったので感謝の言葉を伝えたいけれど定型文のような言葉を使うと気持ちが伝わらないのではないかと考えたので、この留学で得たものや真剣に取り組んだことを等身大で評価し、ノートに書きだしました。帰国の前に友達に手紙を書いたのですが、この過程があったからこそ自分の伝えたい感謝の気持ちをすべて伝えることができたと思います。まだ成長過程にあるのですが、以前に比べると成長した自分を認めることで次のステップに向けてのモチベーションも維持することができました。

コロナ禍での留学で大変なこともありました。この状況だったからこそ自分と向き合うことができ、得るものもたくさんあったのだと思います。関わってくださったすべての方に感謝します。



# 帰国後アンケート

派遣先大学	釜山外国語大学校		留学許可期間	2020年3月1日～2021年2月28日
国名	韓国		留学期間	2020年2月29日～2021年1月11日
必要な語学レベル	なし		(履修期間)	2020年3月17日～2020年12月18日
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	0円 (到着後外国人登録証発行料3,000円)
	海外旅行保険代金	83,386円(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	13万円/6か月	入居申請料	なし
	食費	約2万円/月	水道光熱費	家賃に含まれる
	通学費	なし	その他	( )
	携帯電話代金	4,000円/月	インターネット代金	家賃に含まれる
	履修登録料	なし	授業を受けるために必要なその他の費用	語学堂(選択) 1万2,000円/週
	セメスター1授業料	0円/期	セメスター2授業料	0円/期
	教科書代	約4,000円/期	教科書代	約2,000円/期
	小遣い	約5万円/月	その他	( )
滞在先	滞在先名	釜山外国語大学校 校内寄宿舎		
	滞在方法	寮		
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について 前期 日本人、後期 韓国人
	部屋に備え付けのもの	ベッド(収納付き)、勉強机、椅子、トイレ、シャワー、Wi-Fi、クローゼット、シューズボックス		
	持参した方がよいもの	パソコン、変換プラグ、常備薬、現金(日本円)、隔離中のお菓子と暇つぶし		
	食事のスタイル	朝食	外食	昼食 大学の食堂 夕食 外食 週末の食事 寮内のコンビニ、出前、外食など
通学	自宅から大学までの距離	0km	通学手段	徒歩
	通学所要時間	教室まで10分	その他の場合に記入	
履修	セメスター1で履修した科目	韓国語学の理解、韓国語ビジネス交渉、韓国社会の理解、私を変える文章作成、タンデムで学ぶ日韓文化、中国語スピーキング、就業コミュニティ		
	セメスター2で履修した科目	国際経営、大学韓国語作文、話法と意思疎通、中国語作文		
	平均授業時間	1コマ50分×3/週	その他	( ) 語学堂(5週間のみ)
課外活動	サークル等	韓中交流サークル	活動経費	1学期：なし 2学期：会費1,500円
	活動内容	会長やネイティブから中国語を教わる。内容は、拼音の読み方、作文の添削、会話などレベル別に分かれている。		
留学して良かったこと	韓国語能力はもちろん基本的なコミュニケーション能力も向上したとを感じる。外国人として生活することで他の人を広く受け入れられるようになり、自分も大切にできるようになった。			
留学したことで不利益になったこと	留学先の授業を受けながら卒業論文を書いていたが、コロナによるオンライン授業のため授業で出される課題が多く、時間の余裕が持てないときがあった。就職活動は大多数の4年生とは別行動になるので、自分で調べてよく考えながら過ごす必要があった。			
留学を考えている人へのメッセージ	留学に行くことで、語学力だけではなく様々なものが身につきます。不安な気持ちもあるとは思いますが、少しでも行ってみたいという気持ちがあるならば是非行って、これからの自分の人生をより自分が納得できるものにしていくきっかけになればと思います。			





## 韓国留学を終えて

所 属：国際商学科  
氏 名：竹田 静華

交換留学制度を利用し、韓国の釜山外国語大学校に留学しました。高校生の時から大学生になったら留学に挑戦したいと考えていました。その中で1、2年生の夏休みに韓国での2週間の外国研修に参加したことをきっかけに、韓国語や朝鮮文化に魅力を感じ、長期留学を意識するようになりました。留学前は、研修での経験があったので韓国で生活することに大きな不安はありませんでした。しかし、釜山外国語大学校は新しく協定校になった大学で、過去の先輩の体験記や現地情報が少なく、正確な情報を得るのに苦労しました。出発への不安を抱えた中、新型コロナウイルス感染症が流行しはじめました。厳しい時期に留学することには勇気が必要でしたが、それでも留学を決意したのは理由があります。それは、同時期に留学を控えていた友人たちの存在です。友人たちから留学が厳しいかもしれないという連絡を受けて、友人たちの分まで充実した留學生活を送ろうという思いで過ごしました。

留學生活は、隔離からのスタートでした。人生初の2週間の隔離生活は辛いこともありましたが、日本から応援してくれる家族や友人たちのおかげで乗り切ることができました。隔離期間を終えると、オンライン授業が始まりました。授業では課題提出が多く、課題やレポートに力を入れて取り組みました。釜山外大では、交換留學生は基本的に語学堂には通わず、大学が始まるとすぐに韓国語での授業を受講しなければなりません。初めはオンライン授業の体制に慣れずに苦労しましたが、オンデマンドの特徴を生かして、授業内容を十分に理解できるまで何度も繰り返し視聴しました。受講した授業の中で、韓国人学生と日本人留學生がグループを編成して、自主的にプロジェクトを立ち上げ活動する科目が印象に残っています。プロジェクトを進行するにあたって、現地学生たちの積極性や発表技術の高さを感じました。また、外国語大学というだけあって日本語を専攻している学生の語学力は思っていた以上に高く、自分にとっていい刺激となり、学習意欲の向上に繋がりました。韓国人学生の中に日本人一人という環境でプロジェクトに取り組んだ経験からは様々な学びがありました。

夏休みには、1ヶ月間大学付属の語学堂に通い、語学中心の授業を受けました。語学堂のクラスメイトは多国籍なので、外国人の友達との交流を通して異文化に触れることができました。TOPIK対策の授業では、独学では得られない検定試験のコツや効果的な勉強法を学ぶことができ、受験対策の参考になりました。

2学期目には韓国人学生とルームメイトになりました。学生寮では、韓国人学生と外国人留學生がルームメイトを申請することができるタンデムという制度があります。ルームメイトは日本文化に興味を持っており、話をするうちにすぐに打ち解けました。韓国語の勉強を手伝ってくれたり、困ったことがあれば相談に乗ってくれたり、実家に連れて行ってくれたり、いつでも親身になってサポートしてくれました。紹介してくれた友人たちとも仲良くなり、この友人たちと出会ったことで、私の留學生活はより充実したものになりました。友好的な人ばかりで、どのようなトピックについてもオープンに話し合うことができ、それぞれの考え方や価値観に触れることができました。私の語学力が向上したのも、彼女たちの支えがあったからです。彼女たちとともに過ごした日々は、かけがえのない思い出となりました。タンデム制度を利用して本当に良い交流ができたと思っています。

正直、留學生活は新型コロナウイルス感染症の影響で制限されたことも多く、想像していたものとは違いました。それでもできることを考え、できるだけ現地学生と交流し、いろいろな場所に足を運ぶようにしました。座学で学んだことを現地での生活においてリアルタイムに体感することで、より学びを深めることができました。留学を通して語学力に加え、恐れずに挑戦する力、決断力、行動力、自立心が身に付き、何より自分自身に対する自信が高まりました。留学前は楽しみよりも不安の方が大きく、留学を中断して帰国すべきか悩んだ時期もありましたが、周りの人に恵まれ、充実した留學生活を送れたことで今後の人生の糧となる貴重な時間を過ごせました。コロナ禍で大変な時期に私の留学を応援し、支えてくれた人たちに心から感謝しています。



# 帰国後アンケート

派遣先大学	釜山外国語大学校		留学許可期間	2020年3月1日～2021年2月28日	
国名	韓国		留学期間	2020年2月28日～2021年2月9日	
必要な語学レベル	TOPIK 4級程度		(履修期間)	2020年3月17日～2020年12月18日	
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	0円	
	海外旅行保険代金	83,020円(歯科を含まない)			
	滞在費(家賃)	26,350円/月	入居申請料	0円/年	
	食費	450円/食 (食券1枚ずつ購入時の金額)	水道光熱費	寮費に含まれる	
	通学費	0円/月	その他 (寮の保証金)	10,000円/期 (退寮後返金)	
	携帯電話代金	3,300円/月	インターネット代金	寮費に含まれる	
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために 必要なその他の費用	0円/期	
	セメスター1授業料	0円/期	セメスター2授業料	0円/期	
	教科書代	1,750円/期	教科書代	1,670円/期	
	小遣い	40,000円/月	その他 (TOPIK受験料)	5,500円/回	
滞在先	滞在先名	釜山外国語大学校 学生寮			
	滞在方法	寮			
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について 現地学生、日本人と同居	
	部屋に備え付けのもの 持参した方が良いもの	ベッド、机、クローゼット、靴箱、トイレ、シャワー、エアコン、Wi-Fi PC、変換プラグ			
	食事のスタイル	朝食	外食	昼食	大学の食堂
		夕食	外食	週末の食事	外食
通学	自宅から大学 までの距離	大学の敷地内	通学手段	徒歩	
	通学所要時間	5分	その他の場合に記入		
履修	セメスター1で 履修した科目	日本語韓国語タンデム学習Ⅰ、韓国文化リーディング、韓国語ビジネス交渉Ⅰ、 メディアで見る韓国社会、韓国語と韓国文化、タンデムで学ぶ韓日文化Ⅰ			
	セメスター2で 履修した科目	話法と意思疎通Ⅱ、韓国文学と映像芸術、韓国語学の理解Ⅱ			
	平均授業時間	50分/授業	その他 (語学堂授業料)	60,000円/月	
課外活動	サークル等			活動経費	
	活動内容				
留学して 良かったこと	日本ではできないような経験ができたこと。現地学生や他国の留学生との交流。語学力の向上。				
留学したことで 不利益になったこと	取得できる単位が少ないこと。				
留学を考えている 人へのメッセージ	やりたいことをできる時に。留学に少しでも興味がある人は諦めずにぜひ挑戦してほしいです。長期留学は不安も大きいと思いますが、明確な目標と目的を持ち、それらを達成する強い意志さえあれば案外何とかなります。きっと想像をはるかに超える濃い経験と、新しい自分が待っています。				





## ロス・メダノス・カレッジ (LMC) (アメリカ・ピッツバーグ)

### 概要

ロス・メダノス・カレッジ (LMC) は、1974年にコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ・ディストリクト (CCCCD) に属するコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ (CCC)、ディアブロ・バレー・カレッジ (DVC) に続く、3番目のコミュニティカレッジとして設立されました。LMCは、カリフォルニア州ピッツバーグ市に位置し、修業期間2年のコミュニティカレッジです。大学名の語源はスペイン語であり、ロスとは内陸、メダノスとは砂丘の意味で、内陸の砂丘の大学という意味になります。



メインキャンパスは、サンフランシスコの東約65km、オークランドのパークレイの東50kmに位置し、最寄りの空港はオークランド空港です。大学施設は、図書館、学部棟、プラネタリウム、音楽棟、陶芸棟など多くの建物で構成されています。2008年には新しく科学棟も設置されました。

**学生数** 約3,000人(フルタイム学生)

### 専攻

Administration of Justice (司法)、Anthropology (人類学)、Appliance Service Technology (電気サービス技術)、Art (芸術)、Automotive Technology (自動車技術)、Biological Science (生物科学)、Business (ビジネス)、Chemistry (化学)、Child Development (子どもの発育)、Communication Studies (コミュニケーション研究)、Drama (ドラマ)、Computer Science (コンピュータ科学)、Electrical Technology (電気技術)、Emergency Medical Services (救急医療サービス)、Engineering (工学)、English (英語)、Fire Technology (消防技術)、History (歴史)、Journalism (ジャーナリズム)、Kinesiology (運動学)、Liberal Arts (一般教養教育)、Management and Supervision (管理と監督)、Mathematics (数学)、Music (音楽)、Nursing (看護)、Physics (物理)、Process Technology (プロセス技術)、Psychology (心理学)、Real Estate (不動産)、Recording Arts (レコーディング芸術)、Sociology (社会学)、Transfer Studies (転送研究)、Travel Marketing (旅行マーケティング)、Welding Technology (溶接技術)、World Languages (世界言語)

### キャンパス

2700 East Leland Road, Pittsburg, CA

**Homepage** : <http://www.losmedanos.edu/>





## ディアブロ・バレー・カレッジ (DVC) (アメリカ・プレザントヒル)

### 概要

ディアブロ・バレー・カレッジ (DVC) は、1949年にコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ・ディストリクト (CCCCD) に属する2年制のコミュニティカレッジとしてカリフォルニア州プレザントヒルに設立されました。

DVCはサンフランシスコから50kmの場所に位置し、Bay Area Rapid Transit (BART) という通勤電車の最寄り駅(プレザントヒル)までキャンパス内からバスが運行しています。DVCには74の学生サークルや組織があります。また、61ヶ国から集まった約900人の留学生が学んでいます



**学生数** 約6,700人(フルタイム学生)

### 専攻

ビジネス、企業会計、経営管理、ビジネスマーケティング、ビジネス不動産、化学、コンピュータ科学、建設、料理芸術、ダンス、歯科助手、歯科衛生士、演劇、幼児教育、経済学、教育、電気/電子技術、エネルギーシステム、工学、工学技術、英語、ESL、環境科学、映画、テレビ、電子メディア、中国語、コミュニケーション研究、コンピュータ情報システム、コンピューターネットワークテクノロジー、アラビア語、建築、芸術、アートデジタルメディア、美術史、天文学、生物科学、薬物依存研究、司法、連合保健、人類学、フランス語、地理、地質学、ドイツ語、健康科学、空調、歴史、園芸、人文、工業デザイン、イタリア語、日本語、ジャーナリズム、運動学、図書館技術、数学、音楽、音楽産業研究、栄養学、ペルシャ語、哲学、体育理論、物理学、配管、政治学、心理学、呼吸療法、ロシア語、社会科学、社会学、スペイン語、特別教育、スピーチ、蒸気フィッティング、トランスファー研究 等

### キャンパス

Diablo Valley College: 321 Golf Club Road, Pleasant Hill, CA 94523 USA

**Homepage** : <https://www.dvc.edu/>





## 留学体験記

所 属：国際商学科  
氏 名：神堀 沙也加

留学した大学はアメリカのカリフォルニア州にあるディアブロ・バレー・カレッジというコミュニティカレッジです。下関市立大学と比べると大学の規模は大きく見えますが、アメリカの大学としては中規模です。英語圏で実践的に言語能力の向上を図ること、また、現地に赴く事で海外の文化に直接触れ、異文化に対する理解を一層深めることを目的として今回の留学を決意しました。受講したクラスは、Business communication, Intercultural communication, Student success, Low-inter college English skill, Music applicationです。比較的小規模のクラスを履修していたこともあり、グループワークやプレゼンテーションなどに多く取り組みました。意欲的な学生が多く積極的に発表をしていました。特に興味深かったクラスはIntercultural communicationで、クラスの中には様々な国の学生がおり文化や考え方に対する実際の体験談などを聞け、多くの発見や驚きがありました。

第二外国語として英語を学ぶ学生向けに開講されているクラスは細かくレベル分けされています。カウンセリングでは履修科目に迷ったときやどのレベルの英語のクラスをとればいいのかを相談することができ、先生は親身になって相談に乗ってくれます。また、多様な学科があるため様々なクラスを履修できることも魅力の一つだと思いました。年齢層は16歳から社会人までと幅広く、学生も先生も海外から来た人が多くキャンパス内でも多様な言語が聞こえるなど、グローバルな環境で活気のある印象を受けました。

ディアブロ・バレー・カレッジはサンフランシスコから電車で1時間ほどの場所にあるため、都会のような賑やかさはありません。そのおかげかお世話になっていたホストファミリーの住宅街は夜にウォーキングをしても大丈夫くらい安全な場所でした。ホームステイ先から大学へは車で15分ほどかけて通学していました。大学の付近には学生が多く住むアパートもあり、希望すれば大学から徒歩10分ほどのアパートに住むことも可能です。大学の最寄り駅も車で15分の場所にあったため車がないと不便ではありましたが、ウーバーを利用することで快適に過ごすことが可能でした。ホストマザーと夕食後一緒にテレビを見たり、休日には買い物や映画、劇を見に行ったりしました。サンフランシスコは少し遠いので頻繁ではありませんが、観光地を巡ったりもしました。長期休暇中には友達とロサンゼルス旅行したり、アラバマにいる従妹の家を訪ねてアメリカのクリスマスの過ごし方を体験したりしました。留学中は日本よりも遥かに長い時間英語に触れるため、英語の能力は格段に向上させることができます。たくさんの出会いがあり、そのおかげで出発前には考えつかなかった選択肢にも巡り合うことが出来ました。また、実際に留学したからこそ発見できた文化の奥深さやものの見方がありました。留学で得られたもの全てがすぐに役立つものではないと思いますが、これから先の考え方に大きな影響を与える素晴らしい体験だと思います。



# 帰国後アンケート

※新型コロナウイルス感染拡大のため  
留学期間を短縮しました。

派遣先大学	ディアプロ・バレー・カレッジ (DVC)		留学許可期間	2019年8月1日～2020年7月31日
国名	アメリカ		留学期間	2019年8月19日～2020年3月31日
必要な語学レベル	IELTS 5.5点		(履修期間)	2019年8月26日～2020年3月31日
経費	受入れ大学申請料	5,500円	ビザ申請料	17,600円
	海外旅行保険代金	75,620円(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	100,000円/月	入居申請料	
	食費		水道光熱費	
	通学費		その他 ( )	
	携帯電話代金	4,400円/月	インターネット代金	
	履修登録料	5,000円/期	授業を受けるために 必要なその他の費用	
	セメスター1授業料	557,260円/期	セメスター2授業料	
	教科書代	30,000円/期	教科書代	
	小遣い	10,000円/月	その他 ( )	
滞在先	滞在先名	ホームステイ		
	滞在方法	ホームステイ		
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について
	部屋に備え付けのもの	机、ベッド、ライト、スツール		
	持参した方がよいもの	延長コード		
	食事のスタイル	朝食	自炊	昼食
	夕食	付き	週末の食事	自炊
通学	自宅から大学 までの距離	3Km	通学手段	車
	通学所要時間	10分	その他の場合に記入	
履修	セメスター1で 履修した科目	Business communication, Intercultural communication, Student success, Low-inter college English skill, Music application		
	セメスター2で 履修した科目			
	平均授業時間	90分/授業	その他 ( )	
課外活動	サークル等		活動経費	
	活動内容			
留学して 良かったこと	実際に海外に行くことで、より深く海外の文化を理解できたこと。			
留学したことで 不利益になったこと	就活のスタートが同級生と比べて遅くなること。			
留学を考えている 人へのメッセージ	長期留学は想像以上に多くのことを学べる機会なので、もし迷っているのなら思い切ってチャレンジしてみてください。			





## 成長につながった留学経験

所 属：国際商学科  
氏 名：山下 沙野香

アメリカのDiablo Valley Collegeに留学を決意した理由は、様々な国から来た学生たちと学ぶことが出来るからです。多様な価値観の中で学ぶことで、刺激を得られながら自分の視野を広めることが出来ると思いました。

アメリカ派遣留学という経験から得られたものは数えきれないほどありますが、特に語学力、自己解決能力、そしてチャレンジ精神が挙げられます。留学当初は、アメリカ生活や授業に慣れることに苦労しました。クラスではディスカッションやプレゼンテーションが多く、スピーキングが苦手だった私は、最初の頃は、ディスカッションのテンポが速く、他の人の意見を聞くことで精一杯でした。議題が難しいディスカッションでは、入念な準備をしても一回も発言できなかったこともありました。そのため、少しでも授業に参加できるように、議題ごとに自分の意見を最初に言うことを心がけました。授業外では、積極的に周りのコミュニティに参加し、人との繋がりを大事にしました。お陰で、留学前よりも実践的な英語が身についたと感じています。国籍が異なる友人と交流することで、今まであまり目を向けなかった人種差別や宗教などの問題に興味を持つようにもなりました。

また、アルバイトでの経験は特に印象に残っています。日本食レストランで働いたのですが、アメリカの文化を学びながら、お客様に日本の文化を英語で伝える楽しさを味わうことが出来ました。日本食の説明をする機会が多かったので、英語で説明できるように一生懸命勉強しました。最初は、うまく説明できないことが多く、もどかしい気持ちになることもありましたが、徐々に余裕が出てきて楽しく接客することができるようになりました。日本とは違い、アメリカはチップ制度があります。良いサービスを提供することがチップにも繋がるので、それがモチベーションにもなりました。お客様対応のノウハウや、どういうことをしたらお客様を喜ばせることができるのかなど、常に考えながら接客する力を身に付けることが出来ました。アメリカでのアルバイト経験は、自分の自信にもつながりました。そして、新しいことにチャレンジする楽しさを知ることが出来ました。

留学中、文化の違いや言語力の足りなさにより、様々な失敗をしました。しかし、それらの失敗をどう活かしていけるのか考えることによって、失敗から学ぶ大切さを実感し、自分の成長にもなりました。失敗した時に支えてくれる周りの存在へのありがたみも改めて実感することが出来ました。このかけがえのない留学で身に付けたコミュニケーション能力、問題解決能力、そして行動力を就職活動や仕事でも活かしていきたいです。



# 帰国後アンケート

派遣先大学	ディアプロ・バレー・カレッジ (DVC)		留学許可期間	2019年8月1日～2020年7月31日
国名	アメリカ		留学期間	2019年8月19日～2020年6月24日
必要な語学レベル	IELTS 5.5点		(履修期間)	2019年8月1日～2020年7月31日
経費	受入れ大学申請料	35,000円	ビザ申請料	約16,000円
	海外旅行保険代金	91,490円(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	100,000円/月	入居申請料	0円/年
	食費	20,000円/月	水道光熱費	0円/年
	通学費		その他 ( )	光熱費はルームシェアの子と相談した結果、シェアの子の家族が負担してくれました。本来ならば必要です。家賃は、月額20万円を割勘し月払いしました。
	携帯電話代金	約1,500-2000円/月 (Mint Mobile Sim Card)	インターネット代金	5000円/月 (Xfinity Wifi)
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	
	セメスター1授業料	420,000円/期	セメスター2授業料	560,000円/期
	教科書代	10,000円/期	教科書代	10,000円/期
	小遣い	20,000円/月	その他 ( )	
滞在先	滞在先名	Northridge		
	滞在方法	ルームシェア		
	滞在先の状況	同居者 有 同居者について 他国の留学生と同居		
	部屋に備え付けのもの	冷蔵庫、ガスコンロ、ベッド2個、食洗機、洗濯機(共同)、乾燥機(共同)、エアコン、ジム(共同)、屋外プール(共同)		
	持参した方が良いもの	延長コード		
	食事のスタイル	朝食 自炊	昼食	大学の食堂
	夕食 自炊	週末の食事	自炊・外食	
通学	自宅から大学までの距離	1Km	通学手段	徒歩
	通学所要時間	5分	その他の場合に記入	
履修	セメスター1で履修した科目	Intercultural Communication, Economics of Public Issues, Advanced ESL, Student Succe...		12単位
	セメスター2で履修した科目	Business Communication, First Term Mandarin Chinese, Oral Communication, ...		13単位
	平均授業時間	120分/授業	その他 ( )	夏学期も授業をとることが可能
課外活動	サークル等	インターナショナルクラブ	活動経費	0円/月
	活動内容	留学生との交流のサポート、学習や生活のサポート、ボランティアの提供、イベントの企画など		
留学して良かったこと	年齢関係なく色々な国から来た友達が出来たこと、人種差別などのグローバルな問題に対して関心を持つようになったこと、他の人の意見や考え方をより尊重できるようになったこと、積極性を養えたこと。			
留学したことで不利益になったこと	学費も生活費も日本とは比べ物にならないくらい高額であること。			
留学を考えている人へのメッセージ	留学中の目標を具体的に決めてから留学を開始するとより生活が充実します。アメリカは留学生サポートが充実しており、困ったことがあればすぐに相談できます。ホームステイは当たり外れがありますが、不満がある場合には解決のためのアプローチをすれば直ぐに周りが助けてくれます。授業は毎回の課題や予習、復習が大変です。同じ科目に複数の教員がいるので自分に合わない教授だったら変えましょう。Rate Professorで各教授の評判や授業形式などの情報が得られます。最初は大変ですが積極的に新しいことに挑戦することで、留学生活はとても充実したものになりました。みなさんも積極性を大切に過ごしてみてください。			





## コントラ・コスタ・カレッジ (CCC) (アメリカ・サンパブロ)

### 概要

コントラ・コスタ・カレッジ (CCC) は、コントラコスタコミュニティカレッジ自治区にある3つの大学 (LMC、DVCそしてCCC) の中で最も古く、最も多様な大学です。主にラテン系、アフリカ系アメリカ人、アジア系の学生に教育を提供しているCCCは、サンパブロとリッチモンドのなだらかな丘陵地帯を走るワイルドキャットクリークに強調される、美しく自然豊かな83エーカーの敷地にあります。1949年の開設以来、ウェスト郡地域で唯一の高等教育機関として模範的な教育サービスを提供してきました。CCCは、毎年7,000人以上の学生に教育サービスを提供しており、優秀な教員とスタッフが最高の学習環境の構築に専念しています。

キャンパスには、2016年秋にオープンした新しい大学センターがあり、学生はすべての新しいアクティビティビルディング、本屋、ダイニングセンターを含む料理芸術プログラム施設を利用できるようになりました。キャンパスの中央には、新しい教室棟とコミュニティホール、キャンパスの管理スペースもあり、快適な居住空間で修学できます。



**学生数** 約1,700人 (フルタイム学生)

### 専攻

司法、アフリカ系アメリカ人研究、人類学、芸術、自動車サービス、生物科学、ビジネス、ビジネスオフィステクノロジー、化学、コンピューター情報システム、コンピューターサイエンス、料理芸術、幼児教育、地球科学AS、経済学、救急医療サービス、工学、英語、ESL、健康教育、健康+ヒューマンサービス、歴史、ジャーナリズム、ラ・ラザ研究、教養学、数学、メディア、医療支援、音楽、看護、哲学、体育/運動学、物理学、政治学、心理学、不動産、社会学、スペイン語、スピーチ 等

### キャンパス

500 Court Street, Martinez, CA 94553

**Homepage** : <https://contracosta.edu>



# アルゴマ大学 (カナダ・スーセントマリー)

## 概要

アルゴマ大学での教育は、伝統と豊かな歴史に彩られています。1873年当時、シングウォーカーホールと呼ばれる北米先住民族の子供たちが通う学校が設立されたのが始まりでした。

「小さな大学、豊かな教育」をモットーとしており、クラスの定員人数を少なく設定し、学生達に教室内での意見発表、活発なディスカッションを行い、独自の考えを持つことを推奨しています。授業が終わった後でも、サポートやガイダンス、指導などを気軽に受けられるようにしています。

また、アルゴマ大学は25以上の学位を授与できる多様性を備えている大学ですが、自分にふさわしい居場所を見つけられる、いわゆる「コミュニティ意識」を根付かせるのに手頃なサイズの大学です。

アルゴマ大学は3学期制度(秋学期：9月開始、冬学期1月開始、春学期5月開始)を採用しています。校舎は、スーセントマリー市の昔ながらのランドマークとして有名で、セントマリー川を一望できます。また、スーセントマリー市は、世界保健機構(WHO)により、安全な国際コミュニティに指定されています。人口7万5千人のスーセントマリー市は、五大湖の中心部、アメリカとの国境に位置しています。地域の中心を担う便利な街というだけでなく、大自然の美しいアルゴマ地区がすぐそばにあり、都会のライフスタイルと精神的・身体的・社会的・文化的・知的な満足度高い日常生活の両方が手に入る都市のひとつでもあります。

**学生数** 約1,600人(内 留学生約20%)

## 専攻

会計学、アニッシミーペーモオィヌ(原住民の言語)、生物学、経営学、コミュニティディベロップメント、地域経済社会開発、コンピュータ科学、経済学、英語とメディア、金融と経済、美術、フランス語、地理学、歴史、法と司法、数学、音楽、政治学、心理学、ソーシャルワーク、社会学モットーと特徴

## キャンパス

Algoma University 1520 Queen Street East Sault Ste. Marie, ON

**Homepage** : <https://www.algomau.ca/>





# カナダ留学体験記

所 属：国際商学科  
氏 名：河上 未来

2019年9月1日から2020年6月23日までの約10か月間、カナダのオンタリオ州スー・セント・マリーにあるアルゴマ大学へ留学していました。私にとってこの留学は、ただ語学力が上がったり、異文化に触れたりしただけではなく、困難を乗り越えて成長することのできた留学となりました。では、留学中体験したことを生活面、学習面、イベントに分けて書いていこうと思います。

この留学はまずハプニングから始まりました。アメリカ経由でカナダへ向かう予定だった私は、出発する直前に経由地であるアメリカに入国するための電子渡航許可証を申請していない事を知り、もう留学に行けないのでは、と思ったほど動揺しました。幸いすぐに申請が通り、先行きが不安な中、一日遅れで日本を出発しました。しかし、留学先の町の空港に到着すると、ホストマザーが笑顔で迎えてくれ、不安は消え去りました。一緒に住んでいたのは、フィリピン人のホストマザーとカナダ人のホストファザー、他国籍の留学生数人でした。同世代の学生だったこともありすぐに仲良くなり、緊張することなく英語を使ういい機会となりました。食生活においては、ホストマザーがアジア人だったこともあり、主食が米だった為、毎日たくさんおいしいご飯を食べていました。はじめはどうなるかと思った留学生活でしたが、とても恵まれた環境で生活することができました。

カナダに到着して1週間ほどで授業がはじまり、1学期目は語学学校で、2学期目はアカデミックコースの授業を取っていました。大変だったことは、授業はすべて英語で行うため、慣れていない最初のうちは授業内容を理解できないことがあったこと、他国籍のクラスメイトと意思疎通が難しかった事です。英語の学習を、英語で行うことは難しかったですが、日本で学ぶ文法のような機械的なことだけでなく、ニュアンスまで学ぶことができたため、とても新鮮でリアルな英語を学ぶことができました。クラスメイトとの意思疎通も、怖がらず思い切って考えを伝えることで、互いに理解を深め、協力して課題などに取り組んでいきました。英語を学んでいるという同じ立場で話し合うことで、語学力の向上だけでなく、仲良くなり、お互いの文化を知ることもできました。

イベントでは、ハロウィンに大学で仮装をしたり、クリスマスなどの際にはダウンタウンでパレードに参加したり、学校行事も多くあり、カナダの文化に触れることができました。学期の途中にある1週間の休みでは、現地でできた友人とトロントやヨーロッパへ旅行に行きました。留学中に学んだ語学力を、住んでいる町や他の国で使うことで、自分の自信や成長につながりました。特にヨーロッパへ旅行に行った際は、スーツケースが行方不明になるなどのハプニングがありましたが、あきらめず探し続けたことで無事見つけることができました。言語は道具で、それを活かすためには自分の考えを伝える努力や、伝えることを怖がらない事が大事だと学びました。

語学力の向上や異文化を経験したこと以上に、怖がらず挑戦し、思い切って何かをすることが留学を通して学んだことです。



# 帰国後アンケート

派遣先大学	アルゴマ大学		留学許可期間	2019年9月1日～2020年8月31日
国名	カナダ		留学期間	2019年9月1日～2020年6月23日
必要な語学レベル	IELTS 6.0		(履修期間)	2019年9月4日～2020年4月30日
経費	受入れ大学申請料	20,000円	ビザ申請料	13,000円
	海外旅行保険代金	89,650円(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	75,000円/月	入居申請料	0円/年
	食費	0円/月	水道光熱費	0円/月
	通学費	4,500円/月	その他( )	水道光熱費は寮費に含まれます。
	携帯電話代金	0円/月	インターネット代金	寮費に含まれる
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	大学の保険: 33,456円 施設使用料、その他: 32,000円
	セメスター1授業料	340,000円/期	セメスター2授業料	350,000円/期
	教科書代	0円/期	教科書代	5,000円/期
	小遣い	0円/月	その他( )	
滞在先	滞在先名	Homestay		
	滞在方法	ホームステイ		
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について 他国の留学生と同居
	部屋に備え付けのもの	ベッド、鏡、勉強机、棚		
	持参した方が良いもの	洗濯用ネット、歯ブラシ(カナダのものは大きい)、日本食		
	食事のスタイル	朝食付き	昼食	自炊
	夕食付き	週末の食事	付き	
通学	自宅から大学までの距離	5Km	通学手段	バス
	通学所要時間	30分	その他の場合に記入	
履修	セメスター1で履修した科目	Grammar, Listening and Note Taking, Oral Presentation Skill, Writing, Reading and Critical Thinking		7単位
	セメスター2で履修した科目	Canadian Business, Anthropology		6単位
	平均授業時間	90分/授業	その他( )	
課外活動	サークル等	ボランティアサークル	活動経費	0円/月
	活動内容	夏季休暇中に来る短期留学生に対する学習及び生活サポート		
留学して良かったこと	様々な文化を持つ人と関わることができたこと。日本ではできない経験をたくさんできた。語学能力を上げるとともに、語学以外にも必要なものがたくさんあると気づいたこと。			
留学したことで不利益になったこと	留学の1年間で獲得できる単位数は、下関市立大学で授業を履修して取得できる単位数よりも少ないため、帰国後(3年次・4年次)に授業をたくさん履修する必要がある。			
留学を考えている人へのメッセージ	留学を経験して、私が思う大事なことは、間違いを恐れず自分の意見を伝えること、違う文化背景の人と交流する中で、日本では得られない経験をする事です。1年という短い期間で、ビジネスで使える語学力やネイティブスピーカーのような会話を獲得することは、難しいかもしれません。しかし、思い切って飛び込んで、自分のアイデアや、考えを伝えれば言語よりも大切なことを得られると思います。そして、後から自然と語学力もついてくると思います。			



# ボアジチ大学 (トルコ・イスタンブール)

## 概要

ボアジチ大学(トルコ語:Boğaziçi Üniversitesi)は、トルコ共和国の西部に位置し、ボスポラス海峡を挟んで東西に広がるイスタンブール市にある国立大学です。「ボアジチ」はトルコ語で、ボスポラス海峡のことを指します。

1863年にアメリカ本国外に始めて創設された高等教育機関であるロバート・カレッジを通じてアメリカの教育システムを持つ大学として設立されました。

ボアジチ大学には、トルコの大学入試システムであるYGS-LYS(Student Selection and Placement System)で入学を希望する学生が最も多い大学です。

ボアジチ大学には、9つの学部と43の学科があり、多くの学生が入学を希望していることにより、教育、工学、社会科学、応用化学の分野において、優秀な学生が多数入学してきます。



**学生数** 約15,000人(内 留学生約500人)

## 学部

Faculty of Arts and Sciences(学芸学部)

Faculty of Economics and Administrative Sciences(経済学・行政学学部)

Faculty of Education(教育学部)

Faculty of Engineering(工学部)

The School of Applied Disciplines(応用分野学部)

The School of Foreign Languages(外語学部)

Ataturk Institute for Modern Turkish History(近代トルコの歴史のためのアタチュルク研究所)

Institute of Biomedical Engineering(医用生体工学研究所)

Institute of Environmental Sciences(環境科学研究所)

## キャンパス

South Campus Guney Kampusu Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

North Campus Kuzey Kampusu Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

Hisar Campus Hiser Kampusu Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

Uçaksavar Campus Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

Kandilli Campus 34684, Cengelkoy, Istanbul

Saritepe Campus Bogazici Universitesi Saritepe Kampusu 34450 Sariyer, Istanbul

**Homepage** : <http://www.boun.edu.tr/en-US/>





## 不安と最初の一歩から

所 属：国際商学科  
氏 名：有田 友里

留学先はトルコ西部に位置するボアジチ大学でした。この大学は元々アメリカ人によって開設されたため、授業はすべて英語で行われています。学生は英語を話せる人が多く、その中でも留学生と積極的に関わろうとする学生は、英語に自信がある人、もしくはその国に興味がある人といった印象がありました。トルコと聞くと、‘治安が悪い’や‘ケバブ’、‘親日国’など典型的な第一印象を抱いていましたが、この半年間イスタンブールで生活するなかで、どれだけトルコの素晴らしさが日本に届いていないかを実感しました。そこで今回、トルコ人の国民性、宗教、そして私の好きなトルコについて記していこうと思います。

まず、国民性はみんな基本的にオープンな性格です。私が道に迷ったときには英語が話せなくても一生懸命手伝ってくれようとした人がいたり、英語が伝わらない相手と手続きしなければならないときは、近くに偶然いた英語を話せる人が間に入ってくれたり、とても他人思いだという印象を受けました。

また、corona virusによりアジア人差別を実際に体験した後、外出を控えるようになっていました。そんな状況化で、よく通った近所のお店のおじさんに日本への帰国を伝えた際、彼がゴム手袋を一つくれ、お互いに片手手袋をした状態で固い握手を交わし、トルコ人の仲間意識をもった優しさに胸が熱くなりました。空港までのバスの待ち時間にも、掲示板の臨時変更に戸惑う私に近くにいたおじさんたちが親切に手伝ってくれました。困っている人を見ると助けずにはいられない彼らの優しさに感謝しきれません。

次に宗教です。まず驚いたことは一日4回モスクから聞こえてくるお祈りです。イスラム教という環境の中での生活は初めてで、最初のうちは毎朝この慣れない音に起こされていました。トルコ人にはイスラム教に敬虔な信者が多いイメージがありましたが、最近の若い人々の中にはヒジャブを被っていない人や食にこだわらない人も多くみられ、あまり宗教を重要視していない若者の多さに驚きました。しかし敬虔な信者である友達は、一緒に外出している時でも、お祈りの時間になると施設へお祈りをしに行くので最初は戸惑いもありました。

最後に、イスタンブールの素晴らしい物の一つが景色です。大学のキャンパスを下った先には大きな海峡が広がっており、スルタン・メフメト橋が架かっています。イスタンブールはあらゆる場所が海峡と繋がっており、沢山の人がよく海を眺めながらのんびりしているそんな空間が私は好きでした。

留学生活は大きな地震やシリアとの国境問題、corona virusなど予測不可能な出来事を伴いました。そのような環境でもトルコから学ぶ日本の弱点、トルコに足りない日本の優れた点を経験することができました。情報の少ない国への留学は不安がありました。しかし、一歩を踏み出してみて良かった、そう思える半年間でした。



# 帰国後アンケート

※新型コロナウイルス感染拡大のため  
留学期間を短縮しました。

派遣先大学	ボアジチ大学		留学許可期間	2019年9月1日～2020年8月31日
国名	トルコ		留学期間	2019年9月9日～2020年3月25日
必要な語学レベル	IELTS 6.0点		(履修期間)	2019年9月19日～2020年3月25日
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	
	海外旅行保険代金	75,620円(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	14,210円/月	入居申請料	
	食費		水道光熱費	464円/3人
	通学費	0円/月	その他 ( )	
	携帯電話代金	580円/月	インターネット代金	水道光熱費に含む
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	
	セメスター1授業料	0円/期	セメスター2授業料	0円/期
	教科書代	800円/期	教科書代	400円/期
	小遣い		その他 ( )	
滞在先	滞在先名	Apartment		
	滞在方法	ハウスシェア		
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について 現地学生と同居
	部屋に備え付けのもの	大体の家電製品		
	持参した方がよいもの	変換プラグ		
	食事のスタイル	朝食	自炊	昼食
	夕食	大学の食堂	週末の食事	自炊
通学	自宅から大学までの距離	0.75Km	通学手段	徒歩
	通学所要時間	10分	その他の場合に記入	
履修	セメスター1で履修した科目	4 6単位		
	セメスター2で履修した科目			
	平均授業時間	50分/授業	その他 ( )	
課外活動	サークル等	nitto	活動経費	
	活動内容	トルコ人と日本人の交流の場		
留学して良かったこと	今まで気付かなかった日本の良い点・悪い点に気付くことができた。積極的な学生の生活に参加することで良い刺激が貰えた。			
留学したことで不利益になったこと	特になし			
留学を考えている人へのメッセージ	トルコは日本と同じように、生活環境の中に英語を話せる人が多くありません。しかしその分、一生懸命に人助けをしてくれようとする姿勢が見られ、とても温かい気持ちになります。それだけでは無く、宗教的な大きな違いも見られ、毎日が刺激的です。留学といっても言語のためという考え方だけを持つ必要はないことに私は気付きました。日本にはあってその国(留学先)にはないものであったり、トルコで言うなら文化や動物に対する信念の持ち方であったり、自分の人生に+αしてみる機会を持つことも悪くないと思います。そうすることで、wrold wideな視点を持つことができ、自分の内面的成長に繋がる気がします。もし少しでも留学を迷っているなら、まずは経験者の話を聞くところから始めてみてください。			





# 山あり谷ありのトルコ留学

所 属：国際商学科  
氏 名：小松 真緒

2019年9月から2020年3月にかけてトルコのボアジチ大学へ留学した。不完全な形で留学は終わることになってしまったが、約半年間、非常に有意義な時間を過ごすことができた。

満足した点はトルコという私にとっては比較的マイナーな国でトルコ人と共に生活できたことである。はじめは食事や文化や宗教の違いから戸惑うことも多くあった。たとえば、日本の出汁文化がない点、時間にルーズである点、毎日お祈りの音楽が流れる点である。郷に入っては郷に従えに習い、トルコ風の生活を送ることが段々と楽しくなった。大学生活では授業やクラブ活動を通して、仲の良い友達を作ることができた。英語クラスの課外活動で、初めて演劇に挑戦したことも非常に貴重な経験であった。1つの作品を作り上げるためには、親密なコミュニケーションをとる必要があった。また教授には口酸っぱく「自分の殻を破りなさい」と指導された。この指導は私にとって、とても困難なものであった。しかし毎週の練習を積み重ねることで、大きな声が出せるようになり、身振り手振りも大きくなっていった。少しは自分の殻を破ることに成功したのではないだろうか。加えてクラブ活動でも非常に楽しい時間を過ごすことができた。私は美術クラブに所属していた。裁縫やデッサンを経験し、このクラブ活動を通してかけがえのない友達もできた。休日にイスタンブール市内の観光地を巡ったことは良い思い出である。また、長期の休みには授業で知り合った友達の実家に3日ほど宿泊させてもらった。トルコ人特有の猛烈な歓迎を受けた。トルコは家族同士の結び付きが大変強い国である。大都市であるイスタンブールはその意識は希薄なようだったが、友人の実家はかなり地方にあったため、家族同士のつながりがとても強かった。ギョンという女性のみ親族が集まるパーティーにも参加した。おいしいご飯を食べて歌い踊る時間はトルコ滞在で最も楽しい時間であった。

また、トルコに駐在している日本の社会人の方たちとも積極的に交流をした。下関では、社会人の方と交流する機会があまりなかったように思うが、今回の留学を通して、実際に駐在して働いている人たちのお話を聞くことで、価値観が広がったように感じる。

一方で後悔していることは英語の能力が十分でなかった点である。留学に備えて、もっとストイックに英語の学習をしておくべきだったと自責の念に駆られている。語学系の授業ならまだしも、専門的な講義を英語で受けることは非常に困難であった。自分の準備が不足していたため非常に後悔している。

留学は楽しいだけではなかった。むしろ、大変だなと感じる場面の方が多くあった。しかし、それに見合うだけの良い経験ができたのではないだろうか。トルコで培った友人関係や価値観は私の重要な土台になっている。



# 帰国後アンケート

※新型コロナウイルス感染拡大のため  
留学期間を短縮しました。

派遣先大学	ボアジチ大学		留学許可期間	2019年9月1日～2020年8月31日
国名	トルコ		留学期間	2019年9月1日～2020年3月31日
必要な語学レベル	IELTS6.0		(履修期間)	2019年9月19日～2020年3月31日
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	0円
	海外旅行保険代金	89,650円(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	20,700円/月	入居申請料	0円
	食費	15,000円/月	水道光熱費	家賃に含まれる
	通学費	7,500円/月	その他 ( )	
	携帯電話代金	0円	インターネット代金	0円
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	0円/期
	セメスター1授業料	0円/期	セメスター2授業料	0円/期
	教科書代	1,000円(秋学期)	教科書代	0円/期
	小遣い	30,000円/月	その他 ( )	
滞在先	滞在先名	大学から地下鉄で30分ほどのアパート		
	滞在方法	ルームシェア		
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について 現地学生と同居
	部屋に備え付けのもの	トルコ人姉妹の家に住まわせてもらっていたため、生活できるもの全てが予めそろっていた。		
	持参した方がよいもの	日本の調味料		
	食事のスタイル	朝食	自炊	昼食
	夕食	外食	週末の食事	自炊、外食
通学	自宅から大学までの距離	5km	通学手段	電車
	通学所要時間	30分	その他の場合に記入	
履修	セメスター1で履修した科目	Financial accounting, Management of organizations, Communicative competence in English, Elementary Turkish for foreigners I		8単位
	セメスター2で履修した科目	なし		0単位
	平均授業時間	50分/授業	その他 ( )	なし
課外活動	サークル等	美術クラブ	活動経費	0円
	活動内容	放課後に縫物やデッサンを行う。		
留学して良かったこと	旅行ではなく、留学という形で外国で生活できたことによってより深い国際交流ができたと思います。また、授業も大変レベルが高く、やりがいがあります。今でも連絡を取り合う友達もでき、とても楽しい留学となりました。			
留学したことで不利益になったこと	特になし			
留学を考えている人へのメッセージ	挑戦してみて損はありません！			



# ルートヴィヒスハーフェン経済大学 (ドイツ・ルートヴィヒスハーフェン)

## 概要

1965年に設立されたルートヴィヒスハーフェン経済大学は、ビジネス系の学術分野において、質の高い教育および研究に定評のある大学です。教学面での国際化にも非常に力を入れていて、海外でも高い評価を受けています。

2014年に本学との協定を締結した東アジアセンターは、1988年に設立され、経営学と日本学(または中国学)という二つの学科を、一つの専門コースとして組み合わせ、同時に学ぶことができるようになりました。約180人の学生は卒業時に日本または中国事情に詳しい「経営学士」の資格を得ることができますが、経営学士の資格を得る条件として、最低1年間の日本、または中国への留学を義務付けられています。

## 沿革

1988年－ラインラント・プファルツ州立大学 ルードヴィヒスハーフェン校にモデル校として試験的に「東アジアマーケティング学科」を設立

1992年－日本科を増設

1994年－第一期生 経営学士 (Diplom-Betriebswirt FH) として卒業

1997年－現在の建物に入居「東アジアセンター」と名称の変更

2004年－卒業資格をDiplomからBachelorに変更

2008年－中部・東ヨーロッパセンター (MOI) 増設、設立20周年

**学生数** 約4,500人 (内 留学生 約100人)

## 学部 4学部

Department of Management, Controlling, Healthcare  
(管理、管理会計、医療介護学部)

Department of Marketing and Human Resource Management  
(マーケティング、人的資源管理学部)

Department of Services and Consulting (サービス、コンサルティング学部)

Department of Social Work and Health Care (福祉、保健医療学部)

## キャンパス

4 67059 Ludwigshafen am Rhein

**Homepage** : <http://www.hs-lu.de/en.html>





## ドイツでの留学生生活を終えて

所 属：国際商学科  
氏 名：宮田 琴美

中学生の頃から留学することが夢で、大学に入学した時から絶対に留学へ行きたいと思っていました。しかし1年生の夏頃までは、留学先の選択肢がたくさんあり、どの国のどの大学がいいのか決められずにいました。そんな時に第2外国語で履修していたドイツ語に興味を持ち、協定校にドイツの大学があったことから、ルートヴィヒスハーフェン経済大学への留学を決意しました。

出発日が近づくにつれて、頭の中は不安だらけになっていましたが、自分で留学に行くことを決意したため、周囲には不安であることは全く伝えていませんでした。

ドイツへ到着して1週間は大学での活動がなく、初めてスーパーに行ったとき、あまりの商品名の分からなさに衝撃を受け、知っている単語を絞り出しながら日本でも見たことのあるような食品だけを購入しました。その買い物の直後に、部屋のWi-Fiが何らかの不具合で故障してしまい、勇気を振り絞って隣に住む留学生の部屋をノックしました。初めての留学生との交流だったので、とても緊張しましたが、快くWi-Fiを貸してくれました。これが私の留学人生の始まりでした。最初は誰でも緊張するものだと思います。勇気を出して自分から行動することで、私は友人を作ることが出来ました。それからは、その友人達と一緒に大学へ行き、旅行に行ったり、買い物をしたりしました。彼女たちのおかげで、私の留学生活から不安が徐々に減っていきました。

大学生活では、専門教科以外英語は問題なく聞き取れていました。専門用語が出てくる教科は、わからない単語がたくさん出てきて、毎回辞書で調べては単語の意味を書き写していました。また、ドイツ語の授業は英語で行われ、90分授業が2コマ連続でした。毎時間後半の方は頭が非常に疲れていました。平日は授業や課題があるので忙しかったですが、休日にはホームパーティをしたり、隣接している国やドイツ国内を旅行したり、新たな体験をしてリフレッシュすることが出来ました。テスト期間はテスト勉強やプレゼンなどに追われ、図書館に行って勉強しました。テスト期間がおわった長期休みには、友人達と週末では行けなかったより遠くのEU圏の国々に旅行へ行き、たくさんの初めてを経験しました。日本は島国であるため、国境を超える方法は船か飛行機しかありませんが、EUではバスに乗って降りたらもう外国です。このような不思議な体験ができるのは大陸ならではの体験だと思います。

このドイツへの留学を通して、言語能力を伸ばすことが出来ただけではなく、精神面やコミュニケーション能力も留学前より高まったと思います。留学中、いいこともあれば悲しい出来事もありました。そんな中でも、何とか耐えて生活していかなければなりません。また、自分から声をかけて友人を作らなければ道は開けなかったのも、より積極的になれたと思います。

世界が未曾有の状況の中で早期帰国となり、やり残したこともいくつかありますが、日本ではできない体験をたくさんして、自らの視野を広げることが出来たと思います。

私をサポートしてくださった全ての方々、留学先で出会ったすべての人に感謝しています。



# 帰国後アンケート

※新型コロナウイルス感染拡大のため  
留学期間を短縮しました。

派遣先大学	ルートヴィヒスハーフェン経済大学		留学許可期間	2019年9月1日～2020年8月31日
国名	ドイツ		留学期間	2019年9月9日～2020年3月26日
必要な語学レベル	IELTS 5.5、TOEIC 650		(履修期間)	2019年9月16日～2020年1月15日
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	10,000円
	海外旅行保険代金	89,650円(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	28,000円/月	入居申請料	0円/年
	食費	10,000円/月	水道光熱費	0円/月
	通学費	0円/月	その他 ( )	水道光熱費は寮費に含まれます。公共交通機関は半年分の定期券を買います。
	携帯電話代金	1,500円/月	インターネット代金	寮費に含まれる
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	学生連合料金 15,000円
	セメスター1授業料	0円/期	セメスター2授業料	0円/期
	教科書代	0円/期	教科書代	0円/期
	小遣い	0円/月	その他 ( )	
滞在先	滞在先名	Prinzregentenstrasse 13B		
	滞在方法	ルームシェア		
	滞在先の状況	同居者 有	同居者について	他国の留学生と同居
	部屋に備え付けのもの	食器類、ベッド、マットレス、机、椅子、電気、クローゼット、Wi-Fi		
	持参した方がよいもの	変換器、日本の延長コード、カイロ		
	食事のスタイル	朝食 自炊	昼食	大学の食堂
	夕食 自炊	週末の食事	外食、または自炊	
通学	自宅から大学までの距離	5Km	通学手段	バス
	通学所要時間	15分	その他の場合に記入	
履修	セメスター1で履修した科目	ドイツ語、ビジネスイングリッシュ、プロダクションプランニング、イントラロジスティクス、ジャーマニートゥデイ、ビジネスプラン		13単位
	セメスター2で履修した科目			
	平均授業時間	90分/授業	その他 ( )	なし
課外活動	サークル等	なし	活動経費	0円/月
	活動内容	トルコ人と日本人の交流の場		
留学して良かったこと	日本での大学生活では得られない経験をたくさん経験することが出来たこと。また、英語だけではなく、ドイツ語を学習することが出来たこと。			
留学したことで不利益になったこと	留学から帰ってきてから単位をたくさん取らなければならないこと。			
留学を考えている人へのメッセージ	留学が始まって数週間は友達も少なく、分からないことだらけで楽しさより不安が上回るの事実だと思います。しかし、友達ができるにつれて、不安がなくなっていきます。海外での生活は、日本ではできない体験しかありません。自由な学生の期間だからこそ経験する価値があると思います。			





## ドイツ留学を終えて

所 属：国際商学科  
氏 名：今石 開登

ドイツのルートヴィヒスハーフェン経済大学に約半年間、交換留学をしました。留学先にドイツを選んだ理由は、小さいころから多言語に興味があったからです。授業は英語で行われ、それとは別にドイツ語の語学授業もあるというところに惹かれました。

留学前は「何とかなるだろう。」と甘く考えていましたが、実際の留学生活は想像していたものとは違いました。現地につくと、授業についていけない、言葉を理解できない、道がわからなくても人に聞けない、友達ができないなどさまざまな悩みができました。

一番大きな悩みは、自分の英語力の低さでした。授業はもちろん、外食や買い物、公共交通機関を利用する際、留学生、現地学生とコミュニケーションをとるときなど、あらゆる場面で痛感しました。留学前から目標をもって努力することが一番だと思いますが、現地で問題点に気づいてから、「約1年間という限られた留学期間で語学力を伸ばす。」という目標を持ちました。そのためには一人で勉強するよりも、実際に人と話すほうが効果的だと思っていたので、積極的にいろいろな人に話しかけました。以前は英語で話すとき、完璧な文法で話そうと気を付けていました。しかし、他国からの留学生と話しているうちに、「正確性」よりも「伝える力」のほうが大切だと気づき、簡単な単語や、多少文法が異なっても口に出し、伝えることを意識しました。そこから自分に自信も持てたし、英語力も向上したと思います。

留学先にはさまざまな国出身の留学生がおり、出会いを重ね、多くの友達を作ることができました。授業でのかかわり以外にも、一緒に旅行したり、お酒を飲みに行ったりなどたくさんの思い出を作ることができました。

また、OAIという東アジアセンターの日本語の授業にも参加させてもらうことができ、積極的に関わりました。OAIの学生は日本に興味を持っているので、すぐに仲良くなることができました。彼らの多くはドイツ人学生で、彼らと話すことによって英語とドイツ語の両方を学ぶことができました。OAIのイベントにも積極的に参加し、現地学生と交流を深めることができました。

留学生活を振り返り、「積極的に行動すること」がとても大事だと改めて感じ、実行してきました。ドイツで目標を定めて、積極的な行動をとるに伴い、友達が増え、悩みはだんだん減っていきました。新型コロナウイルス感染症の影響で、最初予定していた留学期間が半分になってしまいましたが、もし決断後すぐに行動せず、「1年間留学期間はあるから」と後回しにしていたら、自分が半年で経験したことはできていなかったと思います。

留学生、現地学生、現地の先生、OAIで自分を快く授業に参加させてくれた先生など多くの人の助けで、半年間という短い期間の中、多くの思い出、そして語学力の向上ができたと思います。

これから留学に行く人は、何か新しいことを必ず見つけることができると思うので、限られた留学期間を無駄にせず積極的に挑戦してほしいと思います。



# 帰国後アンケート

※新型コロナウイルス感染拡大のため  
留学期間を短縮しました。

派遣先大学	ルートヴィスハーフェン経済大学		留学許可期間	2019年9月1日～2020年8月31日
国名	ドイツ		留学期間	2019年9月9日～2020年3月28日
必要な語学レベル	IELTS 5.5点		(履修期間)	2019年9月16日～2020年1月31日
経費	受入れ大学申請料	0円/期	ビザ申請料	12,000円
	海外旅行保険代金	75,620円(10か月)(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	38,000円/月	入居申請料	66,000円/年
	食費	30,000円/月	水道光熱費	家賃に含まれる
	通学費	20,000円/月	その他 ( )	入居申請料はデポジットやインターネット料金など
	携帯電話代金	4,000円/月	インターネット代金	入居申請料に含まれる
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	17,000円/期
	セメスター1授業料	0円/期	セメスター2授業料	0円/期
	教科書代	0円/期	教科書代	0円/期
	小遣い	0円/期	その他 ( )	
滞在先	滞在先名	Prinzregentenstrasse		
	滞在方法	ルームシェア		
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について 日本人と同居
	部屋に備え付けのもの	ハンガー、Wi-Fi、机、椅子、ベッド、食器、家電		
	持参した方がよいもの	常備薬、変換プラグなど		
	食事のスタイル	朝食	自炊	昼食 大学の食堂
	夕食	自炊	週末の食事 自炊または外食	
通学	自宅から大学までの距離	3Km	通学手段	バス
	通学所要時間	20分	その他の場合に記入	
履修	セメスター1で履修した科目	ジャーマニートゥデイ、ビジネスプラン、ドイツ語、ストラテジックマネジメント、ビジネスイングリッシュ、イントラロジスティック		14単位
	セメスター2で履修した科目			
	平均授業時間	90分/授業	その他 ( )	
課外活動	サークル等		活動経費	
	活動内容			
留学して良かったこと	留学を通して語学力だけでなく、行動力を養えたこと。色々な国の人たちとつながりを持つことができたこと。			
留学したことで不利益になったこと	2年生の秋学期から留学に行ったが、留学に行くと取得できる単位がどうしても少なくなるので、そこが帰国してから少し大変かなと思います。			
留学を考えている人へのメッセージ	留学の準備期間や、留学期間は本当にあっという間に終わってしまうので、後悔の無いようにやるべきことは後回しにしないことが一番だと思います。			



# クイーンズランド大学 (オーストラリア・ブリスベン)

## 概要

クイーンズランド大学は1909年12月10日ニューサウスウェールズ州からの独立50周年を記念して州議会で設立を制定され、それから4ヶ月後にクイーンズランド州で初めての大学、オーストラリアでは5番目の大学として設立されました。1911年、83人の学生(23人の女性を含む)がブリスベンのジョージ通りにある総督官邸で初めての授業に出席しました。

第一次世界大戦が終戦に差し掛かった頃から、高等教育の増加に応じて、研究や教育が急速に成長し、1922年にビクトリア公園の場所(現在、一部Mayne Medical Schoolが占めている)はクイーンズランド大学の永住の地として確保されました。後にフォーガンスミスビルと名付けられた最初の建物は、1939年に完成しました。第二次世界大戦のときにはこの建物を軍事目的に転用し、南部西太平洋の陸軍連合のための高度本部として最初の役目を果たしました。クイーンズランド大学のジョージ通りからSt. Lucia 地区への移転は1946年から1972年の間に完了しました。

2014-15年の世界大学ランキングトップ100位以内に入るクイーンズランド大学は、オーストラリアで最も高いランクの学習教育機関の一つです。海外からの留学生や交換留学生は、クイーンズランド大学の全6学部、4,000コースのほとんどの授業を受講することができます。



**学生数** 約53,000人(内 留学生 約18,000人)

## 学部 6学部

- Business, Economics & Law (ビジネス、経済学、法学)
- Engineering, Architecture & Information Technology (工学、建築、情報技術)
- Health & Behavioural Sciences (保健、行動科学)
- Humanities & Social Sciences (人文科学、社会科学)
- Medicine (医学)
- Science (科学)

## キャンパス

- St Lucia Campus The University of Queensland St Lucia QLD
- Herston Campus 288 Herston Road, Herston, QLD
- Gatton Campus The University of Queensland Gatton Campus QLD

**Homepage** : <http://www.uq.edu.au/>

※クイーンズランド大学は2019年4月6日に協定は終了しました。  
クイーンズランド大学附属英語学校(ICTE-UQ)との交流を続けています。



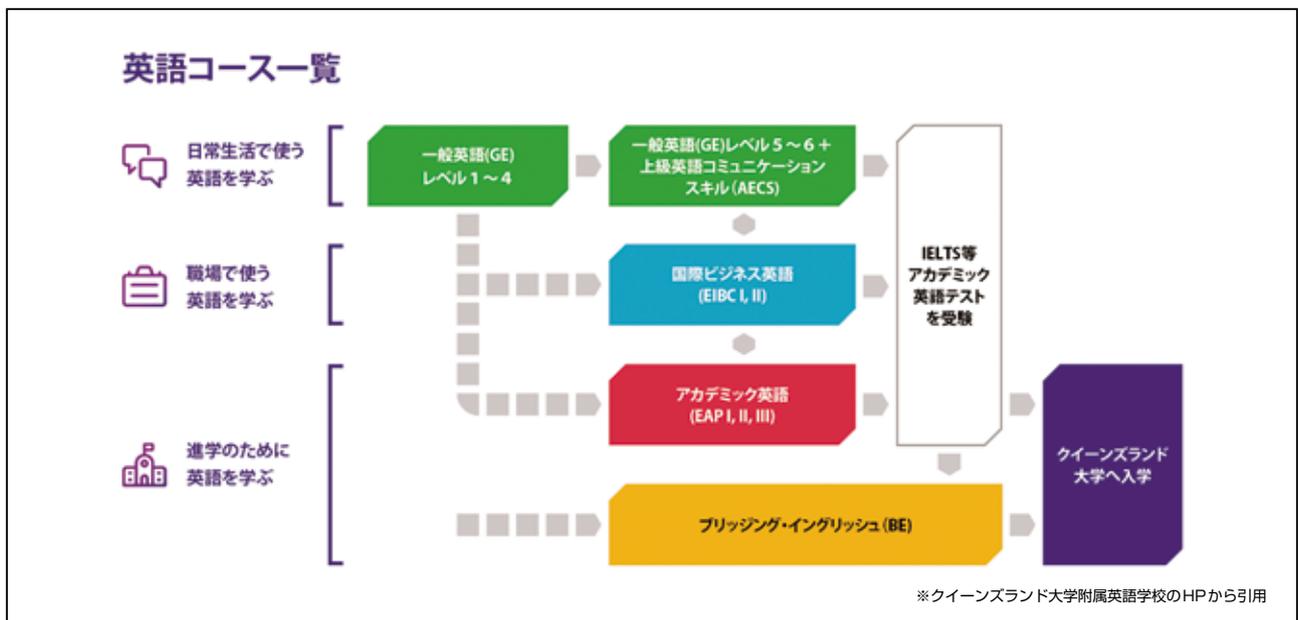


# クイーンズランド大学附属英語学校 (ICTE-UQ) (オーストラリア・ブリスベン)

## 概要

クイーンズランド大学のキャンパス内に1981年に設置されたクイーンズランド大学附属英語学校は、クイーンズランド州で最も歴史ある政府認定語学学校です。世界35～40か国から約1,500人の留学生が集まっています。その内の多くの学生がクイーンズランド大学への進学をめざしているため、学習へのモチベーションが高く、お互いに刺激を受け合いながら留学生活を送ることができます。

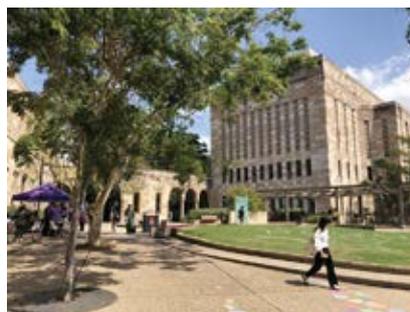
英語教育に関しては、受講者のレベルや学習目的に合わせて様々な英語コースが提供されています。どのコースも革新的な教授法や最新鋭の技術を使って、経験豊富な教師陣により教えられているので、受講者は十分なサポートを得ながら学習ができます。1クラスの人数は18名以下で、受講者は週20時間の対面式授業を受ける他、オンライン学習を利用し、ICTE-UQが提供する選択活動に参加することもできます。



## キャンパス

St Lucia Campus The University of Queensland St Lucia QLD

Homepage : <https://icte.uq.edu.au/>





# オーストラリア留学を終えて

所 属：国際商学科  
氏 名：俣野 妙子

2019年1月2日～11月16日にクイーンズランド大学で交換留学生として勉学に励みました。オーストラリアで過ごした日々は自分を様々な面で大きく成長させてくれたと帰国した今、強く感じています。

最初の半年はICTE-UQに通い大学に必要な語学力を培うため、IELTSでの得点取得を目指しました。日本人はスピーキングが苦手と言われましたが、実際私もとても苦労しました。それでもどうにかして自分の意思を伝えようという気持ちで乗り越えることができました。また、オーストラリアは多国籍国家ということもあり、語学学校のサービスはもちろんのこと州が運営している図書館でも英語のカンパセーションクラスなどが開かれていたため、積極的に英語に触れる環境へ飛び込みました。最終的に無事大学に受け入れてもらえるスコアをとることができ、今は語学学校に通ってよかったと思っています。

7月からはクイーンズランド大学の勉強が始まりました。最初の講義ではネイティブに囲まれた環境に不安で胸がいっぱいでした。同時に日本の一般的な大学での講義とは大きく違い、学生が積極的に参加し、授業の途中で何かわからないことがあるときはすかさず質問が飛び交うといった光景に、憧れであった海外の大学での講義に参加しているという実感が湧きワクワクしました。各教科で講義とチュートリアルを受講しましたが、私の中ではチュートリアルがとても重みがありました。チュートリアルは講義以上に「参加」が求められ、発言や熟考を常に求められました。周りのクラスメートにも何度も助けられ無事に終了することができました。

生活面では、特に大きな支障はありませんでした。住居はとても過ごしやすい場所でオーストラリアに帰りたい家ができるとは思っていませんでした。驚いたことはスーパーマーケットなどの日用品を購入できるお店や飲食店は別にして、ショッピングセンターや町の中心地に位置するお店さえも午後4時～5時で店じまいしてしまう点です。これは日本とは大きく異なる点の一つでした。

この留学のおかげで以前と比べ、語学はもちろんのこと生活面においても自分でどうにかしないといけない局面に対応できるようになったと自負しております。留学は時に寂しいときもありますが、交換留学生としてオーストラリアに來ている同じ下関市立大学生の存在は大きいものでした。最初から最後まで支えてくださったサリバン先生、国際交流班の皆様、家族、友人、すべての方々のサポートで無事に終了することができ、感謝の気持ちでいっぱいです。この留学で学んだものを今後の学生生活に生かして参ります。



# 帰国後アンケート

派遣先大学	クイーンズランド大学		留学許可期間	2019年1月2日～2019年12月31日
国名	オーストラリア		留学期間	2019年1月2日～2019年11月16日
必要な語学レベル	IELTS 6.0点		(履修期間)	2019年1月2日～2019年11月16日
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	5,000円
	海外旅行保険代金	83,410円(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	48,000円/月	入居申請料	0円/年
	食費	40,000円/月	水道光熱費	寮費に含まれる
	通学費		その他( )	
	携帯電話代金	1,866円/月	インターネット代金	寮費に含まれる
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	48,720円(大学の保険料)
	セメスター1授業料	766,000円/期	セメスター2授業料	267,000円/期
	教科書代	20,000円/期	教科書代	
	小遣い	40,000円/月	その他(奨学金)	70,000円
滞在先	滞在先名	Upper Mount Gravatt 一軒家		
	滞在方法	ハウスシェア		
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について 日本人と同居
	部屋に備え付けのもの	ベッド、勉強机、バスルーム、クローゼット		
	持参した方がよいもの	ドライヤー		
	食事のスタイル	朝食	自炊	昼食
	夕食	自炊	週末の食事	自炊
通学	自宅から大学までの距離	10Km	通学手段	バス
	通学所要時間	20分	その他の場合に記入	
履修	セメスター1で履修した科目	英語		5単位
	セメスター2で履修した科目	The introduction of International relations, Writing, CrossCultural Communication		6単位
	平均授業時間	120分/授業	その他( )	
課外活動	サークル等	日本人サークル(Wasabi)	活動経費	0円/月
	活動内容	このサークルに加入している人たちとの交流、日本語学習の手助け		
留学して良かったこと	様々な国の方々との交流を通して、考え方や文化の違いを肌で感じる事ができたことが留学して一番良かった点です。百聞は一見に如かずというように、どんなに色々な国の文化を学んでも実際に体験するとまた異なる捉え方ができるようになり、より理解が深まりました。また、日本語の通じない国で完璧ではない英語でも伝えたいと強く思うことで分かり合えることができるということにも気づくことができ、コミュニケーションをとることへの恐怖はなくなり、積極的に話すことができるようになったこともまた良かった点として挙げる事ができると思います。			
留学したことで不利益になったこと	単位交換が多くはできないため4年生の際に負担が大きくなってしまふ点です。このことは承知の上で留学したのでそこに対して不満はありませんが、一つ不利益になったことを挙げるとしたらこの点が挙げられます。交換留学は4年で卒業することができる特別な留学だと思っています。そのため残りの取らなければいけない単位を完璧に習得していこうと思います。			
留学を考えている人へのメッセージ	留学は長期間だろうが短期間だろうが大変貴重な経験だと思います。旅行とは別に海外に行って生活することは、自分を良い意味で変化させてくれるものだと思います。困難や思い描いていたものとのギャップに苦しむことも多くあると思いますが、その分成長できることも確かです。留学しようか悩んでいるときは身近な人に相談してなるべくやってみたいですね。実際私もやらずに後悔するよりやって後悔の方がいいかなと思ったことも留学を決めた理由の1つです。			



# グリフィス大学 (オーストラリア・ブリスベン)

## 概要

グリフィス大学は、1971年に創立され、これまでに多様な研究分野を展開し、多くの卒業生を輩出してきました。130,000人以上の卒業生は、現在も国内外の各分野で活躍しています。

グリフィス大学はクイーンズランド州の州都ブリスベンと、観光都市として有名なゴールドコーストにキャンパスをもつ総合大学です。留学生を1988年に初めて受け入れ、現在は、約130ヶ国から集まった約9,000人の留学生が在籍しています。

また、オーストラリアで初めて環境学、アジア研究を取り入れたほか、芸術、医学、スポーツ科学、教育、ホスピタリティ、観光学、ビジネス、国際関係など、伝統的な専門区分にとられない幅広い学問的なプログラムを提供しています。幅広い領域にわたる教育研究を行っているため、1つの専門領域にだけに偏らない、複合した領域を学ぶチャンスに恵まれています。

**学生数** 約40,000人(内 留学生 約9,000人)

## 専攻

Business and Government  
Criminology and Law  
Education  
Engineering and Information Technology  
Environment, Planning and Architecture  
Health  
Humanities and Languages  
Music  
Science and Aviation  
Visual and Creative Arts

## キャンパス

Nathan Campus	170 Kessels Road Nathan, QLD
Mt. Gravatt Campus	176 Messines Ridge Road Mt Gravatt, QLD
South Bank Campus	226 Grey Street South Bank, QLD
Logan Campus	68 University Dr Meadowbrook, QLD
Gold Coast Campus	Parklands Drive, Southport, QLD

**Homepage** : <http://www.griffith.edu.au/>





## 留学

所 属：国際商学科  
氏 名：内山 斗哉

2019年10月～2020年3月の期間オーストラリアのグリフィス大学附属英語学校 (GELI) へ留学しました。学校の感想や現地での生活、語学力、オーバーオールな観光について書きたいと思います。GELIで5週間の授業を4回受けました。授業内容はレベルによって異なり、基本的に4技能 (speaking, reading, listening, writing) の向上にフォーカスを当てた授業で、日本、中国、韓国などのアジアとコロンビア、アルゼンチンなどの南アメリカから集まった人たちが主に学んでいました。日本人と関わりたいくなかったのが、はじめのうちは友達がほぼ居らず、イベントへの参加やクラスメイトとのかかわりのおかげで、徐々に日本人以外の友達が増えました。英語漬けの環境の中で、彼らとの生活や関わりを通して、語学力の向上へしっかりと繋がられたと考えると、授業を受け続けていくうちに自分のフォーカスとは違う分野をやらなければいけないことや周りとの英語力の差、ネイティブとの会話の機会がないことなどに多少不満を感じ、本来授業に関係のないことをやらざるを得ないという問題もありました。授業を受けることはただの手段であって、本来の目的は英語力の向上なのでそちらに焦点を置いた学習を続けていました。GELIに行ったことでいろんな国や地域から来た多くの友達を見つけ、また様々な文化にも触れたことにより得たものは大きいと思います。

現地での生活は特に違和感はなく、すぐに馴染めました。ダウンタウンまでも比較的近くバスで300円ほどの距離でした。ブリスベンやシドニーほど大きな街ではないですが、図書館やショッピングモール、パブなどが多く過ごしやすいと思います。ゴールドコーストなどまわりにビーチが多く、夏のシーズンに滞在する街として最高でした。しかし、気温は40度近く太陽の日差しが強かったので真夏はかなり苦戦しました。冬のシーズンは澄んだ空に星が見え、気温もさほど低くならないのでおすすめです。私はホームステイをしており、ホストファミリーもいい方々で快適でした。ファミリーによっては良し悪しあると聞いたのでラッキーでした。

英語力の向上はとても難しく先は長いというのが感想で、常に目的とそれに基づくゴールの設定、詳細な戦略を考え行動しました。1～2年英語圏にいてもなかなか流暢に話せない人は多いし、人によって伸びも違うと思います。しかし、継続していけば必ず少しずつ伸びていくと信じています。勉強の仕方も相性があるので、その人に合った方法を見つけることが一番大切でそれが近道であると考えます。

全体的に今回の留学は本当に価値のあるものだったと思います。言語面でもそうですが、それ以前に言葉がうまく伝わらなくても思いは伝わり、友達はできるし、何かの機会を得るために行動し続けることの大切さ、不安でもとりあえずやってみるものの価値などを知ることができた最高の留学でした。



# 帰国後アンケート

派遣先大学	グリフィス大学附属英語学校		留学許可期間	2019年9月1日～2020年3月31日
国名	オーストラリア		留学期間	2019年10月5日～2020年3月15日
必要な語学レベル	英語資格試験結果		(履修期間)	2019年10月14日～2020年3月13日
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	45,000円
	海外旅行保険代金	43,310円(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	75,000円/月	入居申請料	0円/年
	食費	10,000円/月	水道光熱費	寮費に含まれる
	通学費	10,000円/月	その他 ( )	
	携帯電話代金		インターネット代金	
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	
	セメスター1授業料	150,000円/期	セメスター2授業料	
	教科書代	0円/期	教科書代	
	小遣い	20,000円/月	その他 ( )	
滞在先	滞在先名	19 Acomis St, Manckenzie QLD 4156 オーストラリア		
	滞在方法	ホームステイ		
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について
	部屋に備え付けのもの	机、ベッド、洗濯物干し		
	持参した方がよいもの	日焼け止め、シャンプーなど		
	食事のスタイル	朝食付き	昼食	夕食
	夕食付き	週末の食事	外食付き	
通学	自宅から大学までの距離	15Km	通学手段	バス
	通学所要時間	40分	その他の場合に記入	
履修	セメスター1で履修した科目	DEP5、DEP6		
	セメスター2で履修した科目			
	平均授業時間	120分/授業	その他 ( )	
課外活動	サークル等	なし	活動経費	
	活動内容			
留学して良かったこと	様々な国の人と出会えたこと、そしてそこから学ぶものも多々あった。			
留学したことで不利益になったこと	特になし			
留学を考えている人へのメッセージ	行けるなら、挑戦するべき。			





## 留学を終えて

所 属：国際商学科  
氏 名：池田 智哉

3月から9月までの半年間、オーストラリアのブリスベンにあるグリフィス大学附属英語学校に留学しました。大学在学中に留学をしようと思っていたので決まった時は嬉しかったです。その反面自分の英語力に自信がなかったため、知り合いもいない状況から海外での生活になじめるのかという不安も感じていました。

留学に行きたかった理由として、様々な文化や価値観を持った人たちがいるなかで生活すれば自分を成長させられるのではという思いがありました。しかし、自分の考えていることはかなり抽象的で、具体的な目標や夢がよく分からないまま、オーストラリアでの生活を始めてしまいました。着いてからすぐに行われた学校のオリエンテーションで、その甘さを痛感しました。周りの子たちと話してみると、それぞれ明確な目標を持ち、それに向かって努力してきたのだろうと感じる人たちばかりでした。英語では言いたいことがうまく言えないこともあり、もどかしさや引け目を感じました。今後につながる目標や夢が留学中にできればいいなと考えていた自分との差がよく分かりました。しかし、その悔しさと折れてはいけないと思い、これからのモチベーションにしようプラスに考えました。

その後すぐに新型コロナウイルス感染症が流行し始めて授業もオンラインになり、ほとんど外出する機会がなくなりました。仲良くなったばかりの子たちも帰国してしまい、シェアハウスにいた人の中にも帰国しなければならない人がいました。このような中で強制的に帰国しなくとも、自分の意志で残ることを選ばせてもらったことにとても感謝しています。あの時すぐに帰国となっていたらその後の留学経験は全て出来無かったですし、何も成し遂げないままだったというやりきれなさを感じていたと思います。

しばらく自粛生活は続きましたが、徐々に制限は解除され始めて、遊ぶような友人も出来始めました。彼らのおかげでそれまでの生活からは考えられないような、楽しい時間を過ごせたと思うので、改めて友人の大切さが分かりました。自粛生活中は人と話す場面が限られていたので、英語を使う機会はかなり減っていましたが、友人と遊ぶ中で自然と増えていきました。友人のほとんどは自分と同じように英語を学んでいる人たちで、会話していく中でお互いうまく伝えられないことも多くありました。それを補うようにお互いを理解しあおうとしたり、何とか伝えようとしたことが本当に良い経験となりました。準備不足や努力不足だったとは思いますが、そんな自分なりに留学ではいい経験が積みまれました。もちろん自分一人の力でできた留学ではありませんが、新しい環境に自ら一歩踏み出したこと、そしてその生活を楽しめたことは今後につながる自信になりました。



# 帰国後アンケート

派遣先大学	グリフィス大学附属英語学校		留学許可期間	2020年3月1日～2020年9月30日
国名	オーストラリア		留学期間	2020年3月8日～2020年9月10日
必要な語学レベル	英語資格試験結果		(履修期間)	2020年3月16日～2020年9月10日
経費	受入れ大学申請料	16,650円	ビザ申請料	45,800円
	海外旅行保険代金	70,000円(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	40,000円/月	入居申請料	5,000円
	食費	20,000円/月	水道光熱費	家賃に含む
	通学費	なし	その他 ( )	
	携帯電話代金	1,200円/月	インターネット代金	なし
	履修登録料	なし	授業を受けるために必要なその他の費用	
	セメスター1授業料	532,800円/期	セメスター2授業料	
	教科書代	なし	教科書代	
	小遣い	30,000円/月	その他 ( )	
滞在先	滞在先名	シェアハウス		
	滞在方法	ハウスシェア		
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について 日本人と同居
	部屋に備え付けのもの	机、クローゼット、ベッド		
	持参した方がよいもの	タオル、歯ブラシ、薬		
	食事のスタイル	朝食	自炊	昼食
	夕食	自炊	週末の食事	自炊
通学	自宅から大学までの距離	4Km	通学手段	徒歩
	通学所要時間	30分	その他の場合に記入	
履修	セメスター1で履修した科目	英語		
	セメスター2で履修した科目			
	平均授業時間	120分	その他 ( )	
課外活動	サークル等	なし	活動経費	
	活動内容			
留学して良かったこと	違う価値観を持つ友人とも関わられたこと、学べたこと			
留学したことで不利益になったこと	なし			
留学を考えている人へのメッセージ	一歩踏み出す勇気が大切です			



## その他の交流

---



## 一期一会

所属：国際商学科  
氏名：立花 健

2018年から2年間ワーキングホリデーという制度を使ってオーストラリアに滞在しました。まずなぜオーストラリアなのか。ワーキングホリデービザを使って滞在できる英語圏の国はほかにもカナダやニュージーランドなどがあります。この国々の中で私がオーストラリアを選んだ理由は、1年の夏休みの外国研修です。将来的に留学を考えていた私は、そのことを国際交流センターで相談した際、外国研修という科目を教えてもらいました。人生初めての海外であったため、引率のサリバン先生やほかの市大生と一緒にいけるということに安心感がありました。その時のホストファミリーが本当に素晴らしかったです。私のつたない英語でもゆっくりと聞いてくれ、休日は海や川、バーへとたくさんのおところに連れて行って下さいました。また、いつも会話と笑顔が絶えない家庭でそこからオーストラリアが大好きになりました。次になぜワーキングホリデーなのかについてです。日本に帰国後、どうやらオーストラリアにまた帰ることができるのかを探していました。その時にキャリア教育という講義でワーキングホリデーのことを知りました。ビザについて調べ、これだと思いオーストラリアへ渡航することを決意しました。決意してから日本を発つまでは、とても早かったです。今考えればもっと準備しておいたほうがよかったなということもありますが、結果的にはあの時決断ができ良かったと思います。

オーストラリアの人々は良くも悪くもLazyと形容されます。怠け者という意味です。工作中的スタイルも日本とは異なります。会話が絶えなかったり、時間通り始まらなかったりということが多々ありました。仕事の際私が絶え間なく働くため、ボスから「落ち着け！」と叫ばれたほどです。しかし、このようなオージースタイルが私は大好きです。たくさん会話をし、時にはみんなでバーベキューをすることで、疎外感や寂しさというものを感じたことは一切なかったです。

最後に英語力の進歩についてです。渡豪する前の英語力は低かったです。特に会話で重要となるリスニング力がとても不足していました。渡豪して2か月通った語学学校は、下から2番目のクラスからのスタートでした。幸運なことにローカルの職をゲットでき英語環境に身を置くことができました。セカンドビザを取る際、滞在したワーキングホステルでは、たくさんの種類の英語が聞こえてきて、とても鍛えられたと思います。あまり肩に力を入れずに、楽しむことを前提に過ごしてきたことで嫌にならずに過ごせたと思います。自分から英語が話せて、聞き取れていると感じたのは2年目あたりからです。

2年間様々なことがありました。あの時決断できたからこそたくさんのいい経験ができたと思います。いまどうしようか迷っている人の参考に少しでもなれば幸いです。



# 帰国後アンケート

滞在スタイル	ワーキングホリデー		渡航期間	2018年9月2日～2020年8月20日
国名	オーストラリア		ワーキングホリデー期間	2018年9月2日～2020年8月20日
必要な語学レベル	エレメンタリー		修学期間	2018年9月2日～2018年11月2日
経費	ワーホリ申請料	有料エージェントに頼んだため 約10万円	ビザ申請料	1年目代行をしてもらって7万以上 2年目約4万
	海外旅行保険代金	1年目36万 2年目23万 1ヶ月延長2万 (歯科) 含まない		
滞 在 1	滞在地域	パース スカボロ地域	滞在方法	シェアハウス レントルーム
	滞在費(家賃)	165ドル/週	入居申請料	ボンド 150ドル 退去時に返金
	食費	週40ドル以下	水道光熱費	家賃に含まれていた
	通勤費	徒歩 5分以内または スケートボード	インターネット代金	家賃に含まれていた
	携帯電話代金	20ドル 5GB	小遣い	なし
	持参した方が 良いもの	駄菓子、耳かき、 ボディタオル	その他 ( )	
	食事のスタイル	朝食 自炊 昼食 就労先の賄い 夕食 就労先の賄い 週末や休日 外食		
就 労 1	自宅から企業 までの距離	徒歩5分圏内	通勤手段	徒 歩
	通勤所要時間	5分	その他の場合に記入	
滞 在 2	滞在地域	南オーストラリア パロッサバレー	滞在方法	ワーキングホステル
	滞在費(家賃)	168ドル/週	入居申請料	200ドル ボンド
	食費	40ドル以下/週	水道光熱費	家賃にフックまれる
	通勤費	ガソリン代 70ドル/週	インターネット代金	5ドル/時
	携帯電話代金	30ドル 20GB	小遣い	なし
	持参した方が 良いもの	寝袋、鍵	その他 ( )	
	食事のスタイル	朝食 自炊 昼食 自炊 夕食 自炊 週末や休日 自炊		
就 労 2	自宅から企業 までの距離	42Km	通勤手段	車
	通勤所要時間	40～60分	その他の場合に記入	
滞 在 3	滞在地域	メルボルン	滞在方法	シェアハウス
	滞在費(家賃)	170ドル/週 ※後にコロナウイルスのため120ドル/週に	入居申請料	200ドル ボンド
	食費	おおよそ50ドル以下/週	水道光熱費	家賃に含まれる
	通勤費	まちまち	インターネット代金	家賃に含まれる
	携帯電話代金	20ドル 5GB	小遣い	なし
	持参した方が 良いもの	日本の筆記用具 スーツ	その他 ( )	
	食事のスタイル	朝食 自炊 昼食 自炊 夕食 自炊 週末や休日		
就 労 3	自宅から企業 までの距離	現場により変わる	通勤手段	車
	通勤所要時間	現場により変わる 10～60分	その他の場合に記入	
就 労 4	自宅から企業 までの距離	1Km	通勤手段	徒歩
	通勤所要時間	20分	その他の場合に記入	
ワーホリ 以外の活動	活動内容	旅行	活動経費	20万
	場 所	インドネシア		
ワーホリをして 良かったこと	日本を第三者の視点で見ることができ、さらに日本の良さを実感した。英語力が飛躍した。強くなった。			
ワーホリをして 不利益になったこと	なし			
ワーホリを考えている 人へのメッセージ	どんな経験、結果が得られるかは自分次第			

# 海峡の英知。未来へ そして世界へ。

The wisdom of the Straits. To the future and to the world.

---

---

発行：2021年3月

編集：下関市立大学学務グループ 国際交流班

連絡先：〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1番1号

電話 (083) 254-8693

FAX (083) 252-8099

URL <http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/kkc/>

印刷：有限会社 桑原企画

〒750-0066 山口県下関市東大和町1-4-32

カネミツビル203

電話 (083) 250-9326

FAX (083) 250-9670